

施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(1) 地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用							
ア 伝統的な芸能の普及啓発、鑑賞・発表機会の提供							
文化財や伝統的な芸能を活用した文化芸術の発信							
カナガワ リ・古典プロジェクト in鎌倉	鎌倉市を舞台に、県内の古典や各地の貴重な伝統文化の魅力・価値を再発見し、将来にわたり継承していくという機運につなげていくことを目指し、民俗芸能団体の演目や地域の文化財の映像などを制作し、配信した。	例年行っている公演形式の民族芸能のフェスティバル事業に替えて、コロナ禍における新しい生活様式として民俗芸能団体の演目や地域の文化財の映像などを制作し、配信した。	694,553人(オンライン)	2021年2月15日より順次配信	鎌倉芸術館(撮影場所)	民俗芸能団体の演目や地域の文化財の映像などを制作したことにより、アーカイブの要素として後世に残すための取組を実施することができた。	重点施策1、4
県立施設等における文化発信事業	県立施設等において、伝統文化の公演や伝統工芸等の展示、VRゴーグルによる伝統文化の疑似体験等を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。	—	—	—	—	—	重点施策1、4
日本大通り流鏝馬騎射式	日本大通りでの流鏝馬事業を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。	—	—	—	—	—	重点施策1、4
伝統的な芸能を支える技術・技能の継承者の育成・支援							
相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部のワークショップは中止となった。	マスク着用、手指消毒及び換気の徹底等、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に留意した。	160人	2020年12月12日	平塚中等教育学校	—	重点施策1
日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策1
能楽ワークショップ	謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策1
県立文化施設での伝統的な芸能にかかわる公演の実施、発表機会の確保							
人形浄瑠璃文楽	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演した。	青少年の参加者増を狙って、文楽・人形浄瑠璃クラブがある学校等の生徒を招待した(2校15人)。	689人	2020年10月18日 2回	青少年センター紅葉坂ホール	—	重点施策1、4
かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟団体が一堂に会し、県外の団体も参加して創作太鼓演奏を披露する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策1、4
歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策1、4
相模人形芝居大会	国指定重要無形民俗文化財または県指定重要無形民俗文化財に指定されている相模人形芝居の5座が一堂に介しての合同公演をする予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策1、4

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
かながわ伝統芸能祭などの伝統芸能普及振興事業の実施							
かながわ伝統文化こども歳時記	伝統芸能のみならず、お祭りや年中行事、伝承遊びといった生活に密着した伝統文化全般に込められた「祈り」をテーマに、邦楽器の演奏や日本舞踊、民俗芸能、伝承遊び等を映像をとおして分かりやすく紹介した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、映像収録配信（約45分）に変更し、3月25日より配信開始した。	視聴回数：465回	2021年3月25日より映像配信開始	青少年センター紅葉坂ホール、県立青少年センター科学部、箱根町宮城野出張所・諏訪神社、葉山にここの保育園で映像収録	朝日新聞による取材記事（写真2枚掲載）が掲載された。	重点施策1、4
かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策1、4
文化芸術団体への支援や連携による発表機会の確保							
神奈川県文化芸術活動団体事業補助金	県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して、公募により補助金を交付した。	令和元年度から、「伝統芸能格」「青少年格」に「高齢者格」、「障がい者格」を設け、門戸を広げて募集を行った。また、実地調査報告を公益財団法人神奈川県文化財団に一部委託し、専門的見地からの報告を行った。	要望団体数：62件 助成団体数：26件 助成金交付額：5,302千円	交付申請書の提出期限：2020年2月17日～3月16日（消印有効） 審査会（書類審査）：2020年4月16日～4月23日 交付決定通知書の送付：2020年5月19日	—	—	重点施策1、4
神奈川県文化芸術活動再開加速化事業補助金	感染防止対策を講じた「新しい生活様式」の下での文化芸術活動を定着させるための事業を募集し、支援を行った。	「新しい生活様式」の下での文化芸術活動を定着させるための経費を補助した。	要望団体数：331件 採択団体数：265件 採択額：272,272千円 最終執行額：248,052千円 参加者数：440,342人	交付申請書の提出期限：2020年7月20日～8月7日 交付決定通知書の送付：2020年9月16日	—	—	重点施策1、4
後世に残す伝統的な文化の記録の保存							
民俗芸能調査事業	「吉浜の鹿島踊」を初め、県内に所在する「鹿島踊」について記録保存を行うことにより、県内の民俗芸能の保存・継承の基礎資料とし、調査において当該芸能の特色を明らかにする。新型コロナウイルス感染症の影響により祭りが中止となり、3か年調査を4か年に変更して実施した。	調査員による現地調査及び関連文献の調査を行った。	調査員13人ほか	現地調査 2020年9月23日ほか6回等	湯河原町吉浜、湯河原町鍛冶屋、小田原市米神、小田原市根府川、真鶴町真鶴ほか	調査報告書原稿収集(第2章、第3章、第4章(一部)、第5章(一部)、コラム等)	重点施策1
伝統的な文化芸術保存ライブラリー	県で実施した伝統的な芸能について、映像及び報告書等の整理をし、後世に残していく取組を実施した。	2019年度から実施した取組であるが、2016年度分から収集した。	—	—	文化課内で紙媒体又はデータで保存	—	重点施策1
イ 文化財保護の充実等							
文化財の指定及び指定文化財に対する助成等の実施							
指定文化財保存修理等補助金	指定文化財等の保存修理等に対して、補助金を交付し、文化財の保存活用を図った。	—	・有形文化財保存修理等（16件） ・記念物等保存修理等（12件） ・民俗文化財保存修理等（14件） 合計42件	—	—	—	—
県立の博物館での文化財、伝統芸能等に関する資料の収集、保管、展示							
県立金沢文庫における文化財の管理	2万点を超える国宝・重要文化財をはじめとする文化財を適切に管理した。	日々の温湿度管理や収蔵庫内の整理等を行った。	—	—	県立金沢文庫	—	—

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
県立歴史博物館における資料の収集、修繕	神奈川県内の文化と歴史に主眼を置いた資料を収集した。また、収蔵資料の定期的な修繕を行った。	資料の収集について、購入は市場の動向を注視しながら、寄贈コレクションを補完する関連資料の収集を行った。また、部門ごとにまとめた修繕希望資料のリストを集約し、順次修繕を行った。	—	—	県立歴史博物館	川端玉章筆「函嶺景巻」、祖栄筆「蘆葉連磨図」、曾我師助書下、川崎駅長室案内標、大正期川崎市関係図の5件6点を購入した。寄贈については、考古資料は深鉢形土器など1件64点、歴史資料は鈴木快輔家資料など11件410点、美術資料は鍾馗図1件1点、民俗資料は庚申塔1件3点の、合計14件478点を受け入れた。また、赤羽刀、藤野町浄瑠璃人形、長吉筆「布袋図」、関八州大絵図、隅田花吾妻障の5件9点の資料の修繕を実施した。	
県ホームページ等による文化財に関する情報の提供							
指定文化財の所有・保持者に対する情報提供	指定文化財の所有・保持者に対する周知を行った。	—	ページビュー数：14,474件	—	—	—	
ウ 伝統工芸品等の地域資源の活用							
工芸を主とする木製品業者向けにものづくり支援や技術情報の提供、連携・交流							
木製品ものづくり支援事業①	ものづくりに必要な設備機器等を木製品製造業者に貸し出した。	工芸に関する加工、塗装、加飾技術を有する職員が相談に乗り、助言を行った。	機器利用件数：759件	通年	中小企業支援課小田原駐在事務所	—	重点施策1
木製品ものづくり支援事業②	木製品製造業者からの依頼を受け、新商品の試作等のための加工・製作を行った。	工芸に関する加工、塗装、加飾技術を有する職員が相談に乗り、助言を行った。	依頼加工・試作等件数：58件	通年	中小企業支援課小田原駐在事務所	—	重点施策1
工芸ヤングフォーラム	小田原・箱根地域の木製品製造業に携わる若手工芸技術者を対象に、交流の場を提供した。	木工技術、産地の歴史等、幅広い知見があり、事業者支援の経験を有する専門家を指導講師として招いた。	述べ参加者数：72人	2020年7月から2021年3月まで1～2カ月に1回、計6回開催	中小企業支援課小田原駐在事務所	—	重点施策1
(2) 県民の文化芸術活動の充実							
ア 文化芸術に対する関心、理解を深めるための普及啓発							
県立文化施設での文化芸術に関する講座、講演会等の開催							
県立近代文学館における講演会	神奈川県近代文学館のホール等の会場を利用して、企画展や特別展に即した内容の講演会を開催した。	第一線で活躍する作家や研究者を招いて講演会を実施することができた。	474人	企画展等に合わせて4回実施	神奈川県近代文学館	コロナにより外出を控えた方へ向け講演をDVDで頒布、ダイジェスト版の配信も行った。	
学校演劇交流フェスティバル	学校演劇における創作のスキルアップを目的とした試演とワークショップを、新型コロナウイルス感染症により活動休止等となった中学校・高等学校の演劇部・ダンス部を対象に、自宅学習及び学校再開後の部活動での活用できるよう、オンラインによる講習会（演劇部門、ダンス部門）に切り替えて実施した。	コロナ禍における自宅での研鑽及び学校再開後の部活動において活用してもらうため、オンラインによる講習会（演劇部門、ダンス部門）を実施し、舞台芸術活動に取り組む青少年を支援した。	視聴回数：2,175回 課題応募者：28人 動画活用：42校263人 オンライン参加者：28人	①演劇部門 オンライン講習会：2020年5月22日 映像配信開始日：2020年7月2日 ②ダンス部門 オンライン講習会：2020年5月25日、6月8日 映像配信開始日：2020年7月2日	—	一般視聴が可能な動画については、各学校に対する広報のみであったにもかかわらず、演劇編、ダンス編（2回分）それぞれ1,000件を超える視聴を得られた。	
神奈川県芸術劇場での鑑賞普及事業の実施	KAAT神奈川県芸術劇場の白井見芸術監督と音楽家のトークセッション「SHIRAI's CAFE」をオンラインにより実施した。	コロナ禍にあっても気軽に劇場に親しむことができるイベントとして、オンラインにより実施した。	①オープンシアター2020「SHIRAI's CAFE」 オンライン配信再生回数：4,519回 ②「SHIRAI's CAFE」 オンライン配信再生回数：78回	①2020年8月25日～9月30日 ②2021年3月21日	—	—	
舞台芸術講座	館の所有する楽器を活かした講座や、名作オペラの講座といった、館の設備や事業と連携した講座を開催した。 ※一部新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	我が国でも珍しい、規模の小さいホール設置のオルガンの魅力を多面的に紹介する講座を企画した。	408人	2021年9月26日、2022年3月27日	県民ホール本館	—	

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
県立金沢文庫における講座、講演会等の開催	特別講演会、月例講座、解説講座等を開催した。	展覧会の開催に合わせたものや、地域史に関わるものを中心に実施し、横浜市金沢区とも連携した。	特別講座：2回、75人 月例講座：1回、72人	特別講座：2020年12月19日ほか 月例講座：2020年12月13日	県立金沢文庫	—	
県民ホール本館における芸術文化普及事業	ファンタスティック・ガラコンサート2020の関連企画として、子どものためのステージ見学及びワークショップ付きコンサートを実施したが、公開リハーサルやオルガン見学等のステージ見学等、多くの事業について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	98人	2020年12月29日	県民ホール本館	—	
青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による演劇・ダンスの創造活動の発展向上に資することを目的として、中高生向けの3つの先端的なワークショッププログラム（映像、ダンス振付、舞台美術）を実施した。	コロナ禍での実施となり、ダンス編はZOOMを活用し、参加者の自宅と青少年センター練習室（講師）を繋いだリアルタイムでのオンラインワークショップとして実施した。	①映像編17人 ②ダンス編12人 ③舞台美術編16人	①映像編 2021年2月22日 ②ダンス編 2021年2月13日、14日 ③舞台美術編 2021年3月28日	①映像編：県立相模原弥栄高等学校 ②ダンス編：県立青少年センター練習室 ③舞台美術編：県立青少年センター紅葉坂ホール	—	
心技体+創ワークショップ	『知識は力なり』をテーマに、今や沢山のジャンルに細分化されているストリートダンスを、スキルだけでなくそのカルチャーや歴史、ステップの意味や名前等を学びながらダンスをより深く理解することを目的としたワークショップを実施した。	—	55人	2021年3月30日、3月31日	青少年センター 研修室1	座学でHIPHOPの歴史を学び、BREAK INの特徴を生かしながら、HIPHOPにも取り入れることができるということが講師のデモンストレーションで学ぶことができた。	
演劇指導者のための実践的ワークショップ	中学校・高等学校の演劇部指導者、演劇部等の指導的立場にある生徒等を対象に音響、照明、舞台のノウハウを学ぶためのワークショップを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する講習会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
広報誌、ホームページによる普及啓発の実施							
マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。併せて、ツイッター等のSNSにおいても情報発信を行った。また、訪日外国人向け特集記事を作成し、ネイティブによる多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	イベント掲載数を増やしたほか、読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	PV（ページビュー）数 307,480	通年	—	—	

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
神奈川近代文学館におけるホームページ、SNSの活用	SNSの積極的な活用やコミックとのコラボレーションによりホームページ利用のアクセス数を高く維持し、広く広報周知活動を行った。	展覧会紹介、資料紹介等に加え、誕生日日などにもSNSで発信するなど、日々新しい話題を提供している。	ホームページアクセス数：146,843件 上記のうち、蔵書検索アクセス数：39,171件 動画コンテンツ視聴数：計4,334件 Twitterフォロワー：約4,000人	通年	神奈川近代文学館 ホームページ及びSNS	作家のフォトムービー、文学散歩案内、講演会の音声・動画など新たなコンテンツを公開した。	—
県立金沢文庫における普及啓発の実施	県立金沢文庫で開催する展覧会や関連する講座等のイベントについて、HPや地域の情報誌、美術館・博物館関係の雑誌で展覧会の紹介を行った。	各雑誌に掲載された展覧会の紹介記事では展覧会の目玉となる作品を紹介し、展覧会の魅力やみどころを伝えられるよう発信した。また、ミュージアムキャラクターアワード2020に参加し、全国規模のイベントで金沢文庫の存在をアピールした。	—	通年	—	HP閲覧件数：131,918件 ミュージアムキャラクターアワード2020獲得票数：1423票（11位）	—
県立近代美術館における普及啓発の実施	広報誌『たいせつな風景』を発行し、美術館活動の周知に努めた。また、近代美術館ウェブサイトを通して、開催する展覧会の情報を広く県民に発信した。	2020年度の広報誌については、中止した講座の講師に原稿を依頼した。また、ウェブサイトについては、展覧会開催前に代表的な出品作品の画像を含む情報を提供した。	—	通年	—	広報紙：1回（2021年3月31日発行） ウェブサイト展覧会詳細ページ：展覧会開幕に合わせて、年3回程度更新	—
県立歴史博物館における普及啓発の実施	HP（Twitter含む）を活用した情報提供や刊行物、マスメディア（紙・電波媒体、ネット）による情報発信を行った。	新聞等のマスメディアへの露出機会を増やすために、きめ細やかな情報提供に努めた。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、外出自粛が続く中、新規サイト「おうちでかながわげんぱく」等のオンラインでの情報発信に努めた。	643件 【内訳】 ・HP（Twitter含む）：367件 ・特別展等チラシ・ポスター：10件 その他：266件（新聞：84件、雑誌：47件、テレビ：34件、ラジオ：3件、外部WEB：89件、その他：9件）	通年	—	—	—
広報誌「ANGLE」	芸術監督と各演目に関わるアーティストとの対談や公演レビューなどを掲載した。	紙媒体のほか、閉館中の劇場広報活動として、芸術監督白井晃とゲストとの対談記事を収録した広報誌「ANGLE」のWEB版を3回リリースした。	年間8万部	年3回発行 2020年4月1日 2020年9月20日 2021年1月1日	KAAT神奈川芸術劇場	—	—
神奈川芸術プレス	冊子を発行・配布することで、公演情報の周知、県内の文化情報等を掲載した。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、県内文化施設の閉館、イベント等の中止・延期が相次ぐ状況を踏まえ、発行回数を6回から4回に変更するとともに、公演が集中する時期の発行号では、通常1本のロングインタビュー記事を2本掲載するなど、紙面の充実を図った。	年間18万部	年4回発行 （8月、11月、令和3年1月、3月発行号）	—	—	—
イベントカレンダー	県内の文化イベント情報をカレンダー形式で掲載する日英併記の情報誌「マグカル・イベントカレンダー」を作成した。	毎号特集ページを設け、県事業のPRを行った。	発行部数247,500部	年3回発行 9～11月号 12～2月号 3～5月号	県内、都内の文化施設、駅、劇場、ホテル等で配布	—	—
イ 鑑賞機会の充実							
県立文化施設での公演事業の実施							
県民ホール本館での公演事業の実施	「神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ2020」など県民ホール本館における主催・共催公演を実施した。	施設運営担当と連携し、利用日程の調整や当日運営を行ったほか、専門家の助言や業界ガイドラインに基づいた感染症対策を講じた上で実施し、我が国におけるオペラ上演再開の嚆矢（こうし）となった。	13,185人	通年 20公演2展覧会（うち、共催等6公演）	県民ホール本館ほか	「トゥーランドット」が朝日新聞演奏会評及び回顧2020で取り上げられた。	—

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
神奈川芸術劇場 等での公演事業 の実施	音楽劇「銀河鉄道の夜2020」 など新たな舞台芸術作品や新 作公演を実施した。	国内外の優れたアーティスト と協力し、施設の特徴を生か した舞台芸術の創造・発信 を行った。新型コロナウイルス 感染症の影響で現場への参 加が不可能になった海外の スタッフについてはオンライン 配信を利用し、できるだけ 通常の創作環境を整えるよ うに工夫した。	26,737人 (オンライン配信視 聴者8,068)	通年 117公演 1 展覧会 オンライン配信10回 (うち、提携16公 演、オンライン配信 1回)	KAAT神奈川芸術劇場 ほか	「未練の幽霊と怪物」が第72 回読売文学賞戯曲・シナリオ 賞を受賞、「オレステスと ジュラダス」が日本照明家協 会賞で優秀賞、「セールスマ ンの死」が第46回菊田一夫演 劇賞演劇大賞を受賞した。	
音楽堂での公演 事業の実施	「音楽堂室内オペラ・プロ ジェクト」第3弾、バッハ・ コレギウム・ジャパンの、ヘ ンデル「リナルド」など、県 立音楽堂における主催・共催 公演を実施した。	音楽堂初登場の演奏家や日 本初演作品等に重点を置 き、全国的にも注目され る、レベルの高い公演・企 画の実施に留意した。	5,026人 (オンライン配信視 聴者数2,917)	通年 11事業19公演 (うち、共催等6事 業13公演)	音楽堂	新型コロナウイルス感染症対 応として日程変更・収容人数 限定等と併せて、オンライン 配信を取り入れるなど音楽文 化の発信に努めた。	
青少年センター での公演事業の 実施	青少年センターにおける演 劇・ダンス発表会やマクガ ルシアター公演など、主催・共 催・後援による公演等を実施 した。	施設運営担当と連携し、利 用日程の調整や当日運営を 行った。	17,046人	通年 220公演	青少年センター紅葉 坂ホール、スタジオ HIKARI等	—	
音楽堂における 芸術文化鑑賞普 及事業	アウトリーチなど（4事業1 演目1公演17企画27回）	新型コロナウイルス対応と して一部オンライン配信に より実施した。	526人 (オンライン視聴者 数12,437回)	2020年9月12日～ 2021年3月31日	音楽堂ほか	—	
(再)人形浄瑠璃 文楽	文化芸術の鑑賞機会の充実と 活動の場づくりの一環とし て、県民の伝統文化への理解 を促進し、継承、発展への機 運を盛り上げるために、青少 年・一般県民を対象に、人形 浄瑠璃文楽を上演した。	青少年の参加者増を狙っ て、文楽・人形浄瑠璃クラ ブがある学校等の生徒を招 待した（2校15人）。	689人	2020年10月18日 2 回	青少年センター紅葉 坂ホール	—	
ホームクリスマ スコンサート	子育て支援事業として、子育 て中の親子を対象としたラン チタイムコンサートの内容を 一部変更して実施した。	新型コロナウイルス感染拡 大防止の観点から、無観客 で実施することを検討。施 設内に配信用光回線を設置 し、無観客ライブ配信で実 施した。	ライブ視聴者数190 人、アーカイブ視聴 者数943人	2020年12月8日	かながわアートホ ール	—	
(再)かながわ伝 統文化こども歳 時記	伝統芸能のみならず、お祭り や年中行事、伝承遊びとい った生活に密着した伝統文化 全般に込められた「祈り」を テーマに、邦楽器の演奏や日 本舞踊、民俗芸能、伝承遊び 等を映像をとおして分かりや すく紹介した。	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため、映像収録 配信（約45分）に変更し、 3月25日より配信開始し た。	視聴回数：465回	2021年3月25日より 映像配信開始	青少年センター紅葉 坂ホール、県立青少 年センター科学部、 箱根町宮城野出張 所・諏訪神社、葉山 にこここ保育園で映 像収録	朝日新聞による取材記事（写 真2枚掲載）が掲載された。	
神奈川フィル・ カジュアルコン サート	神奈川フィル・ジュニアオー ケストラ修了公演に代わり、 内容を一部変更した神奈川 フィルによるカジュアルコン サートを実施した。	新型コロナウイルス感染拡 大防止の観点から、無観客 ライブ配信で実施した。	ライブ視聴者数652 人、アーカイブ視聴 者数2,823人	2021年3月28日	かながわアートホ ール	—	
(再)かながわの 太鼓	神奈川県太鼓連合加盟団体が 一堂に会し、県外の団体も参 加して創作太鼓演奏を披露す る予定であったが、新型コロ ナウイルス感染症拡大防止の ため中止となった。	—	—	—	—	—	
(再)歌舞伎鑑賞 教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と 活動の場づくりの一環とし て、県民の伝統文化への理解 を促進し、継承、発展への機 運を盛り上げるために、青少 年・一般県民を対象に、歌舞 伎を上演する予定であったが 、新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止とな った。	—	—	—	—	—	
(再)相模人形芝 居大会	高等学校等において、伝統芸 能への関心を喚起し、団体の 活動の紹介や上演等を行う ワークショップを行った。新 型コロナウイルス感染症拡 大防止のため、一部のワー クショップは中止とな った。	—	—	—	—	—	

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
青少年対象演劇鑑賞会	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して、舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育てていくため、優れた演劇やダンスの鑑賞会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
青少年ダンス鑑賞会	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、舞踊の鑑賞会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
世界文化交流プロジェクト	東京2020競技大会の機会をとらえ、世界的に有名な演劇を公演を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
DVD鑑賞会（かながわアートホール）	月に一度、ホールにて、かながわアートホールが所蔵する音源、映像を上演する事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
野外コンサート（かながわアートホール）	アートホール前広場に音楽を溢れさせたいという目的で正面玄関横のテラスをステージとして、コンサートを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
県立近代美術館での美術作品の展覧会の開催・普及活動の実施							
県立近代美術館における展覧会の開催、普及活動事業の実施	「珠玉の日本画」展をはじめ、葉山館では3つの企画展と3つのコレクション展を開催し、鎌倉別館では1つのコレクション展を実施した。また、展覧会に関連したギャラリートークなどを展開した。	展覧会については、情操教育に資するため、バランスの取れた企画を実施した。また、教育普及活動については、来館者における鑑賞機会の充実を目的として、多様な形態の活動を実践した。	入館者数：45,145人 教育普及活動（ギャラリートーク等）：6回、59人	展覧会：2020年7月31日～2020年9月22日他 教育普及活動：2020年11月3日他	県立近代美術館葉山館	—	
県立近代美術館における展覧会記念講演会等事業の開催 葉山町での共催による講座の実施	コレクション展「ゴッホから中園孔二まで」等に関連した記念講演会等をオンラインで公開した。また、学芸員による連続講座として「近代美術館入門講座」を開催した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部講演会等はオンラインで公開した。	展覧会関連講演会等：動画2本、視聴回数計536回 近代美術館講座：2回、44人	展覧会関連講演会等：2020年9月4日公開、2020年11月27日公開 近代美術館講座：2020年10月17日、2020年11月21日	県立近代美術館葉山館 葉山町福祉文化会館	—	
県立の博物館での文化芸術に関する資料等の展示、展覧会の開催・普及活動の実施							
県立歴史博物館における資料の展示	常設展では、各テーマごとに年間を通して展示替えを行った。	展示替えに際しては、小規模なテーマ展「トピック展示」を展開するなどの工夫を行った。	常設展入館者数：12,751人	通年 展示替えは資料整理休館日を中心に実施。	県立歴史博物館	年間を通じ1,402件の資料の展示替えを行った。	
県立金沢文庫における展覧会の開催	「江戸刷り物品定メ」や「東アジア仏教への扉」等の展覧会を5回実施した。	金沢文庫が管理する文化財を中心に、それと関連する外部の文化財の借用を行い、魅力ある展覧会を行った。	入館者数：9,479人	企画展「江戸刷り物品定メ」：2020年7月31日～2020年9月27日他	県立金沢文庫	—	

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
県立歴史博物館 における特別展 の実施	「明治錦絵×大正新版画」展、「相模川流域のみほとけ」展、「かながわの正月」展、特別陳列「出土文字資料からみる古代の神奈川」展を実施した。	「ポケット学芸員」を活用した音声・文字による展示ガイドを行った。また、関連事業として講演会や展示解説を積極的に行った。	「明治錦絵×大正新版画」展：5,719人 「相模川流域のみほとけ」展：10,411人 「かながわの正月」展：1,294人 特別陳列「出土文字資料からみる古代の神奈川」展：767人	「明治錦絵×大正新版画」展：2020年8月25日～9月22日 「相模川流域のみほとけ」展：2020年10月10日～11月29日 「かながわの正月」展：2020年12月12日～2021年1月11日 特別陳列「出土文字資料からみる古代の神奈川」展：2021年3月23日～3月28日	県立歴史博物館	—	
県立歴史博物館 における各種講座 等の開催	県民の生涯学習支援のための特別展開連講座・講演会・体験教室・子ども向け講座等各種催し物を開催した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、多くの講座等を中止とした中、開催できた講座等は通常時より定員を少なくし受講者の間隔をあけて密にならないよう工夫するなど、感染防止対策に万全を期して運営した。	一般向け講座他：24回、642人 子ども向け催し物：2回、7人 ミュージアムコンサート：1回、23人 県内学校向け学芸員の出張講座：10回、1,078人	特別展「相模原流域のみほとけ」記念講演会：2020年10月10日 他	県立歴史博物館等	—	
県立近代文学館での文学資料に関する展示、展覧会の開催・普及活動の実施							
県立近代文学館 における特別展・企画展	所蔵資料等を活用した特別展・企画展を実施した。	歴史的背景にも触れながら、作家の魅力が伝わる展示を行った。	8,902人	通年 3回実施	神奈川近代文学館	展覧会を通して資料収集の成果を示し、新たな資料が寄贈された。	
県立近代文学館 におけるギャラリートーク	企画展等に合わせて展示説明会を開催した。	展覧会の内容を資料画像等を用いて解説し、観覧者に対してより深い理解を促した。	116人	企画展等に合わせて7回実施	神奈川近代文学館	観覧者が、展示担当者へ直接質問する場ともなった。	
県立近代文学館 における上映会等	神奈川近代文学館のホール等の会場を利用して、上映会等のイベントを実施した。	展覧会のテーマに沿った作品を上映した。	537人	企画展等に合わせて5回実施	神奈川近代文学館	文学以外の分野のファン層が文学館に足を運んだ。	
かなぶんキッズ クラブ（紙芝居、映画会、絵本の読み聞かせ等）	子どもの長期休み期間に合わせて「かなぶんキッズクラブ」として紙芝居、映画会を実施した。	例年実施していた夏休み期間のイベントは、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった。春休みの映画会は定員を50%に減らし開催、紙芝居はオンライン公開とした。	107人	①子ども映画会：2021年3月30日 ②紙芝居：2021年3月26日～オンライン公開	神奈川近代文学館	紙芝居のオンライン公開では年度内に計344件の視聴があった。	
文化芸術団体との連携による鑑賞機会の提供							
神奈川芸術劇場 (KAAT)での企画制作事業の実施	KAAT神奈川芸術劇場プロデュース作品等を県内他施設や他府県で公演したが、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの公演が中止となった。	KAATでの実績がある人気作品を各地で上演した。	2,241人	通年 2演目6公演	まつもと市民芸術館ほか	—	
第36回かながわ 音楽コンクール	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためコンクールは中止となったが、2020年10月4日にユースピアノ部門エントリー者を対象としたチャレンジコンサートin音楽堂、11月1日にヴァイオリン部門エントリー者を対象としたチャレンジコンサートinフィリアを実施した。神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者に対し、コロナ禍における発表の場の提供を通じて、一層の人材育成を図る目的で実施した。	時間帯を決めた更衣室の利用等により、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。また、かながわ音楽コンクール審査員による講評を実施する等、中止となったコンクールの代替事業となるよう工夫を行った。	参加者数：107人 鑑賞者数：318人	①チャレンジコンサートin音楽堂：2020年10月4日 ②チャレンジコンサートinフィリア：2020年11月1日	①チャレンジコンサートin音楽堂：神奈川県立音楽堂 ②チャレンジコンサートinフィリア：横浜市青葉区民文化センターフィリアホール	—	
(再)カナガワ リ・古典プロジェクトin鎌倉	鎌倉市を舞台に、県内の古典や各地の貴重な伝統文化の魅力・価値を再発見し、将来にわたり継承していくことという機運につなげていくことを目指し、民俗芸能団体の演目や地域の文化財の映像などを制作し、配信した。	例年行っている公演形式の民族芸能のフェスティバル事業に替えて、コロナ禍における新しい生活様式として民俗芸能団体の演目や地域の文化財の映像などを制作し、配信した。	694,553人(オンライン)	2021年2月15日より順次配信	鎌倉芸術館(撮影場所)	民俗芸能団体の演目や地域の文化財の映像などを制作したことにより、アーカイブの要素として後世に残すための取組を実施することができた。	

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
第15回フレッシュ・コンサート	次世代を担うと期待される神奈川県ゆかりの才能ある若手奏者を広く県民に紹介し、オーケストラとの共演を通じてその才能の一層の育成を図った。	—	352人	2021年2月27日	音楽堂	—	
(再)県立施設等における文化発信事業	県立施設等において、伝統文化の公演や伝統工芸等の展示、VRゴーグルによる伝統文化の疑似体験等を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。	—	—	—	—	—	
巡回オペラの実施	県民ホールの出張公演として、県内の施設で子ども向けオペラを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
舞台芸術の創作活動を通してコミュニケーションの向上を図る青少年支援事業	平成29年度から3年間に渡り、青少年センター青少年サポート課と同ホール運営課が連携して実施してきた「舞台芸術活用青少年支援事業」の集大成として、青少年を取り巻く不登校等の心の課題に対し舞台芸術の力が解決の糸口の一つとなる可能性を提示することを目的に、その取組成果を舞台作品として上演する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
ウ 県民の文化芸術活動や発表機会の支援							
県立文化施設での練習・発表等の活動の場の提供							
マダカルシアター等	主に若手の舞台芸術団体や個人に青少年センター スタジオ「HIKARI」及びかながわアートホールを公演場所として会場・設備・備品を無料で提供した。	多くの文化芸術団体等の公演の場を広げるため、公演会場としてかながわアートホールを新規で追加した。	2,912人	通年	青少年センタースタジオHIKARI、かながわアートホール	個性の異なる2つの会場を拠点としたことから、出演団体の種別や東京所在の団体が増えるなど、すそ野が広がっている。	
マダカル・パフォーミングアーツ・アカデミー	マダカルの核となるような、専門的な舞台芸術人材を育成するため、実践的な歌・ダンス・演技のレッスンを行った。	常任の講師に加え、特別講師を迎えレッスンを行った。通常とは違った内容のレッスンを行うことで、生徒のモチベーションの向上を図った。	373人	練習日：週2日 計87日（原則、火曜日と木曜日） 成果発表会：新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 本公演：2020年12月19日、20日（2公演）	県立青少年センター紅葉坂ホール	—	
青少年ダンス発表会	表現芸術の充実と向上を図ることを目的に創作舞踊発表会を実施した。	各学校（団体）における日頃の取組みの成果を発表する場を提供するという「発表会」の本来の趣旨に鑑み、今年度は講師による講評を行わないこととする見直しを行った。	1,157人	2020年11月1日	青少年センター紅葉坂ホール	—	
小・中・高等学校演劇発表会	小・中・高等学校を対象に、演劇の発表会を実施した。	—	小学生：新型コロナウイルスの感染予防のため中止 中学生：693人 高校生：316人	中学校：2020年12月5日、6日 高等学校：2020年11月14日、15日	青少年センター紅葉坂ホール	—	
かながわ児童劇グループ交流会（かながわ人形劇フェスティバル）	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、映像配信事業として実施した。	出演団体の募集について、高校や短大で活動している複数の人形劇サークルにも出演協力の依頼を行った。	出演参加者：24人 配信視聴者：244人	2021年2月27日、28日 全4公演	青少年センタースタジオHIKARI	—	

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
かながわミュージカルアワード2021	神奈川の地域色豊かなミュージカルの表彰・公演事業を実施し、県内のミュージカル人材の育成及びレベルアップを図った。	神奈川県にゆかりのある題材のミュージカルを公募し、地域色を出した。	【応募数】4団体 （上演は2団体を選定） 【来場者数】新型コロナウイルス感染症対策の為無観客（ライブ配信）で開催。ライブ視聴者数（瞬間最多視聴者数）186人、アーカイブ（総再生回数）615回	アワード公演：2021年3月21日	青少年センター 紅葉坂ホール	—	
かながわ短編演劇アワード2021	短編演劇及び短編戯曲の全国公募によるコンペティションを開催した。	短編戯曲において、作品テーマをCOVID-19とした。また、最終選考に残った戯曲をweb公開することで、より多くの方に作品に触れてもらう機会を設けた。	【応募数】 短編演劇：37団体 短編戯曲：58作品 【来場者数】 本戦：新型コロナウイルス感染症対策の為無観客（ライブ配信）で開催。ライブ視聴者数（瞬間最多視聴者数）198人 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	本戦：2021年3月20日～21日 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	本戦：KAAT神奈川芸術劇場 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：県立神奈川総合高等学校（中止）	—	
神奈川フィル・ジュニアオーケストラ2020	小学4年生～高校3年生の子どもたちがアートホールに集い、神奈川フィル団員の指導を経て神奈川フィルと共演する事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
青少年のための芝居塾	県内の地域・歴史等を取り入れた演劇・ミュージカルを創作し、公募した青少年により上演する実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
中学校創作劇発表会	中学校を対象に、創作劇の発表会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
マグカル・ハイスクール・演劇フェスタ	県高校演劇発表会にて最優秀賞等高い評価を得た作品を上演する実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
県美術展の開催							
第56回神奈川県美術展	例年全国公募による美術展を実施し、作品発表の機会を提供し創作活動の支援を図っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
文化芸術団体の創作・発表等の活動への助成等による支援							
マグカルシアター出演団体等の上演作品制作支援事業	マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して作品制作に関する課題解決を支援し、上演作品の質的向上を図った。	—	研修室利用者 26団体 727人	通年	青少年センター	—	
(再)神奈川県文化芸術活動団体事業補助金	県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して、公募により補助金を交付した。	令和元年度から、「伝統芸能枠」「青少年枠」に「高齢者枠」、「障がい者枠」を設け、門戸を広げて募集を行った。また、実地調査報告を公益財団法人神奈川芸術文化財団に一部委託し、専門的見地からの報告を行った。	要望団体数：62件 助成団体数：26件 助成金交付額：5,302千円	交付申請書の提出期限：2020年2月17日～3月16日（消印有効） 審査会（書類審査）：2020年4月16日～4月23日 交付決定通知書の送付：2020年5月19日	—	—	

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
バーチャル開放区	県庁前日本大通りで音楽やダンスなど自由に発表できる空間「マグカル開放区」の開催場所を路上からオンライン上に移して、文化芸術オールジャンルの動画を募集し、配信する取組である動画コンテスト「バーチャル開放区」を実施した。	—	応募件数：255件 一般動画：244件（審査対象動画） ゲスト動画：11件（趣旨に賛同したアーティストからの応援動画） 視聴結果 《PV数》 350,453回（視聴期間：6月1日～3月31日） 《再生数》 358,022回（視聴期間：6月1日～3月31日）	2020年6月1日～ 2021年3月31日	インターネット上	—	
マグカル開放区	歩行者天国となった県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス、大道芸等のジャンルを問わず自由に発表できる開放的な空間である「開放区」を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
伝統的な芸能、舞台芸術作品等の公演などへの共催等による支援							
(再)県民ホール本館での公演事業の実施	「神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ2020」など県民ホール本館における主催・共催公演を実施した。	施設運営担当と連携し、利用日程の調整や当日運営を行ったほか、専門家の助言や業界ガイドラインに基づいた感染症対策を講じた上で実施し、我が国におけるオペラ上演再開の嚆矢（こうし）となった。	13,185人	通年 20公演2展覧会（うち、共催等6公演）	県民ホール本館ほか	「トゥーランドット」が朝日新聞演奏会評及び回顧2020で取り上げられた。	
(再)神奈川芸術劇場等での公演事業の実施	音楽劇「銀河鉄道の夜2020」など新たな舞台芸術作品や新作公演を実施した。	国内外の優れたアーティストと協力し、施設の特徴を生かした舞台芸術の創造・発信を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で現場への参加が不可能になった海外のスタッフについてはオンラインを利用し、できるだけ通常の創作環境を整えるように工夫した。	26,737人 （オンライン配信視聴者8,068）	通年 117公演1展覧会 オンライン配信10回（うち、提携16公演、オンライン配信1回）	KAAT神奈川芸術劇場ほか	「未練の幽霊と怪物」が第72回読売文学賞戯曲・シナリオ賞を受賞、「オレステスとピュラデス」が日本照明家協会賞で優秀賞、「セールスマンの死」が第46回菊田一夫演劇賞演劇大賞を受賞した。	
(再)音楽堂での公演事業の実施	「音楽堂室内オペラ・プロジェクト」第3弾、バッハ・コレギウム・ジャパンの、ヘンデル「リナルド」など、県立音楽堂における主催・共催公演を実施した。	音楽堂初登場の演奏家や日本初演作品等に重点を置き、全国的にも注目される、レベルの高い公演・企画の実施に留意した。	5,026人 （オンライン配信視聴者数2,917）	通年 11事業19公演（うち、共催等6事業13公演）	音楽堂	新型コロナウイルス感染症対応として日程変更・収容人数限定等と併せて、オンライン発信を取り入れるなど音楽文化の発信に努めた。	
(再)かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
エ 文化芸術活動に関する情報の提供							
文化芸術に関する広報誌の発行							
(再)神奈川芸術プレス	冊子を発行・配布することで、公演情報の周知、県内の文化情報等を掲載した。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、県内文化施設の閉館、イベント等の中止・延期が相次ぐ状況を踏まえ、発行回数を6回から4回に変更するとともに、公演が集中する時期の発行号では、通常1本のロングインタビュー記事を2本掲載するなど、紙面の充実を図った。	年間18万部	年4回発行 （8月、11月、令和3年1月、3月発行号）	—	—	
(再)イベントカレンダー	県内の文化イベント情報をカレンダー形式で掲載する日英併記の情報誌「マグカル・イベントカレンダー」を作成した。	毎月特集ページを設け、県事業のPRを行った。	発行部数247,500部	年3回発行 9～11月号 12～2月号 3～5月号	県内、都内の文化施設、駅、劇場、ホテル等で配布	—	

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
ホームページ、SNS、ポータルサイトによる公演情報、文化芸術活動のための情報の提供							
(再)マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。併せて、ツイッター等のSNSにおいても情報発信を行った。また、訪日外国人向け特集記事を作成し、ネイティブによる多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	イベント掲載数を増やしたほか、読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	PV（ページビュー）数 307,480	通年	—	—	
(再)神奈川近代文学館におけるホームページ、SNSの活用	SNSの積極的な活用やコミックとのコラボレーションによりホームページ利用のアクセス数を高く維持し、広く広報周知活動を行った。	展覧会紹介、資料紹介等に加え、誕生日日などにもSNSで発信するなど、日々新しい話題を提供している。	ホームページアクセス数：146,843件 上記のうち、蔵書検索アクセス数：39,171件 動画コンテンツ視聴数：計4,334件 Twitterフォロワー：約4,000人	通年	神奈川近代文学館 ホームページ及びSNS	作家のフォトムービー、文学散歩案内、講演会の音声・動画など新たなコンテンツを公開した。	
県立金沢文庫における情報提供の実施	県立金沢文庫で開催する展覧会や講座などのイベントについて、HPやTwitterで広報を行った。	展覧会の目玉となる作品や金沢文庫が管理する国宝「金沢文庫文書」の作品紹介を定期的にTwitterで紹介し、展覧会や金沢文庫の保管する資料の魅力を伝えるよう発信した。	HP閲覧件数：131,918件 Twitter発信件数：233件	通年	—	—	
県立近代美術館における情報提供の実施	プレスリリースを報道関係者にメールで配信した。また、Twitter上で美術館の日々の活動を発信した。	各々の電子媒体によって、対象に合わせた内容を発信した。	メール配信数：7回 Twitter発信数：42回	通年	—	—	
県立歴史博物館における情報提供の実施	HP（Twitter含む）を活用した情報提供や刊行物、マスメディア（紙・電波媒体、ネット）による情報発信を行った。	新聞等のマスメディアへの露出機会を増やすために、きめ細やかな情報提供に努めた。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、外出自粛が続く中、新規サイト「おうちでかながわけんばく」等のオンラインでの情報発信に努めた。	643件 【内訳】 ・HP（Twitter含む）：367件 ・特別展等チラシ・ポスター：10件 その他：266件（新聞：84件、雑誌：47件、テレビ：34件、ラジオ：3件、外部WEB：89件、その他：9件）	通年	—	—	
(3) 芸術家等の育成等に関する支援等							
ア 芸術家や文化芸術を支える活動を行う者の育成							
神奈川文化賞・未来賞等による顕彰の実施							
神奈川文化賞・未来賞表彰事業	神奈川県在住、在職又は神奈川に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対して「神奈川文化賞」を贈呈した。2001年度に、神奈川文化賞の第50回を記念し、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に贈呈するために「未来賞」を創設し、贈呈した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため縮小開催とし、関係者のみの参加とした。	縮小開催のため、一般観覧者なし	2020年11月3日	神奈川県庁本庁舎3階大会議場	受賞者6人（文化賞：4人、未来賞：2人）	
舞台技術者等の文化芸術を支える者の研修等による育成支援							
視覚言語がつくる演劇のこぼれ	「音で観るダンスのワークインプログレス」の後継事業としての新たな取組み。視覚から多くの情報を受け取り表現する者として、視覚言語にフォーカスした演劇体験をつくるプロジェクトを実施した。	新型コロナウイルス対応として、ラボ（3回）、上演＆トーク（1回）をオンラインにて配信	0人（オンライン配信視聴者525）	2020年8月29日、9月27日、11月25日、2021年3月21日～（公開終了日未定）	KAAT神奈川芸術劇場等	—	重点施策2

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
2020年度インターン劇場運営 (KAAT神奈川芸術劇場)	現場での実務を通して、公立文化施設のあり方や、事業政策・劇場運営の基本的な業務について実践的に学ぶ場を提供した。	TPAM期間中に開催し、劇場職員だけでなく、外部の制作スタッフからも経験を学ぶ場にできた。	3人	2021年2月6日～14日	KAAT神奈川芸術劇場	コロナ禍だったため、劇場がどのように感染症対策を行っているかという、普段では経験できない仕事も伝えることができた。	重点施策2
大学等と連携した人材養成プログラムの実施 (県民ホール)	東京音楽大学と連携して感染症対策のもとでの演奏会の実現というテーマでの人材育成を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施している	10人	2021年2月19日	県民ホール本館	コロナ禍のもとで、安全安心に演奏会を実施することについての実践的な研修の場となった。	重点施策5
KAAT+YNU(横浜国立大学)教育普及講座	「芝居の大学 公開オンライン講座 第Ⅱ期-移動型公共劇場はいかにして可能か-」をオンラインにより実施した。	—	視聴者数：155人	2021年2月23日、3月2日、9日、16日	—	—	重点施策2
KAAT舞台芸術講座2020「舞台芸術×障害者～舞台技術者がインクルーシブシアターを考える～」	あらゆる人々のための舞台芸術を目指して、障がいのある方や必要としている方への鑑賞サービスや、舞台技術者にとってのインクルーシブシアターとは何かを考える講座をオンライン配信により実施した。	—	再生回数：240回	配信開始日：2021年3月22日	—	—	重点施策2
劇場運営マネジメント プロフェッショナル人材養成講座	文化施設の利用窓口担当者を対象とする講座を実施した。	概念を学ぶ場ではなく、翌日から現場で使える知識を得る内容とした。	24人	2021年3月23日	県民ホール本館	県民ホールのサイト「神奈川県民ホールの取り組み」において、H28年度から継続して講座内容を紹介している。	重点施策2
劇場体験インターン事業	県民ホールにて公演制作インターンを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2
新進芸術家等の育成支援の検討							
プロフェッショナルアーティスト養成事業(県民ホール)	県民ホール本館で実施する公演のオーディション等により、若手の芸術家を養成する事業を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施している	2人	通年 2回 (2020年7月30日、9月8日～10月18日/10月10日)	県民ホール本館等	アンダースタディを経験した若手歌手がその後の民間オペラ公演で主役役に抜擢された	重点施策2
(再)第36回かながわ音楽コンクール	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためコンクールは中止となったが、2020年10月4日にコースピアノ部門エントリー者を対象としたチャレンジコンサートin音楽堂、11月1日にヴァイオリン部門エントリー者を対象としたチャレンジコンサートinフィリアを実施した。神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者に対し、コロナ禍における発表の場の提供を通じて、一層の人材育成を図る目的で実施した。	時間帯を決めた更衣室の利用等により、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。また、かながわ音楽コンクール審査員による講評を実施する等、中止となったコンクールの代替事業となるよう工夫を行った。	参加者数：107人 鑑賞者数：318人	①チャレンジコンサートin音楽堂：2020年10月4日 ②チャレンジコンサートinフィリア：2020年11月1日	①チャレンジコンサートin音楽堂：神奈川県立音楽堂 ②チャレンジコンサートinフィリア：横浜市青葉区民文化センターフィリアホール	—	重点施策2
イ 創作のための環境の整備							
県立文化施設の練習・稽古等での活用							
(再)マダカシタター等	主に若手の舞台芸術団体や個人に青少年センター スタジオ「HIKARI」及びかながわアートホールを公演場所として会場・設備・備品を無料で提供した。	多くの文化芸術団体等の公演の場を広げるため、公演会場としてかながわアートホールを新規で追加した。	2,912人	通年	青少年センタースタジオHIKARI、かながわアートホール	個性の異なる2つの会場を拠点としたことから、出演団体の種別や東京所在の団体が増えるなど、すそ野が広がっている。	重点施策2

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
新進芸術家の創作環境支援の検討							
アーティスト・イン・レジデンス推進事業	アートによる国際交流・地域間交流を目的に地域のアート団体と連携して「アーティスト・イン・レジデンス推進事業」を展開した。	平成30年度募集では、募集のスケジュール上、4月～5月までのイベントを採択することが不可能だったため、今年度は募集期間を前倒した。	1,138人【藤沢今昔・まちなかアートめぐり2020】930人＋【波止場のワークショップ2020】18人、190人（動画視聴者数）＋【池子の森の音楽祭アーティスト・イン・レジデンス事業（仮称）】中止	【藤沢今昔・まちなかアートめぐり2020】実施日：2020年10月31日～11月23日 【波止場のワークショップ2020】実施日：2021年3月1日～3月15日【池子の森の音楽祭アーティスト・イン・レジデンス事業（仮称）】実施日：2020年10月16日～10月27日中止	【藤沢今昔・まちなかアートめぐり2020】藤沢市（旧稲元屋、関店商店、旧石管根商店、有田家、藤沢市ふじさわ宿交流館他）、【波止場のワークショップ2020】若葉町ウォーフ、【池子の森の音楽祭アーティスト・イン・レジデンス事業（仮称）】池子の森自然公園 中止	—	重点施策2
ウ 創造的活動の成果を発表する機会の確保							
県美術展の開催							
(再)第56回神奈川県美術展	例年全国公募による美術展を実施し、作品発表の機会を提供し創作活動の支援を図っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2
文化芸術団体との連携による新進芸術家を起用した演奏会等の開催							
(再)第15回フレッシュ・コンサート	次世代を担うと期待される神奈川県ゆかりの才能ある若手奏者を広く県民に紹介し、オーケストラとの共演を通じてその才能の一層の育成を図った。	—	352人	2021年2月27日	音楽堂	—	重点施策2
県立文化施設主催事業における新進芸術家の積極的登用							
(再)プロフェッショナルアーティスト養成事業の実施	県民ホール本館で実施する公演のオーディション等により、若手の芸術家を養成する事業を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施している	2人	通年 2回 (2020年7月30日、9月8日～10月18日／10月10日)	県民ホール本館等	アンダースタディを経験した若手歌手がその後の民間オペラ公演で主役役に抜擢された	重点施策2
新進芸術家の発表機会支援の検討							
(再)マグカル開放区	歩行者天国となった県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス、大道芸等のジャンルを問わず自由に発表できる開放的な空間である「開放区」を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2
(4) 文化芸術団体の育成等							
文化芸術団体への助成等による支援							
(再)神奈川県文化芸術活動団体事業補助金	県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して、公募により補助金を交付した。	令和元年度から、「伝統芸能枠」「青少年枠」に「高齢者枠」、「障がい者枠」を設け、門戸を広げて募集を行った。また、実地調査報告を公益財団法人神奈川県文化財団に一部委託し、専門的見地からの報告を行った。	要望団体数：62件 助成団体数：26件 助成金交付額：5,302千円	交付申請書の提出期限：2020年2月17日～3月16日（消印有効） 審査会（書類審査）：2020年4月16日～4月23日 交付決定通知書の送付：2020年5月19日	—	—	—
マグカル推進事業補助金	神奈川県文化プログラムの核となる事業を実施する団体から企画案を公募し、補助金を交付した。	創設3年目に当たり、より丁寧な広報を行った。	要望団体数：24件 助成団体数：6件 採択額：9,153千円 参加者数：2,564名	交付申請書の提出期限：2020年2月17日～3月16日（消印有効） 交付決定通知書の送付：2020年4月22日	—	—	—

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再)神奈川県文化芸術活動再開加速化事業補助金	感染防止対策を講じた「新しい生活様式」の下での文化芸術活動を定着させるための事業を募集し、支援を行った。	「新しい生活様式」の下での文化芸術活動を定着させるための経費を補助した。	要望団体数：331件 採択団体数：265件 採択額：272,272千円 最終執行額：248,052千円 参加者数：440,342人	交付申請書の提出期限：2020年7月20日～8月7日 交付決定通知書の送付：2020年9月16日	—	—	
文化芸術団体の活動に対する後援							
文化芸術団体の活動に対する後援	文化芸術団体等が主催する、県内で実施する事業について、県の文化芸術の振興に寄与すると認められるものに、神奈川県の後援名義の使用を承認した。	—	後援名義の使用承認実績：114件	—	—	—	
神奈川文化プログラム認証制度	県内で実施する事業・活動について、一定の要件を満たすものを神奈川県文化プログラムとして認証した。	県内市町村や文化芸術活動団体、文化施設等に積極的に周知を行い、より多くの事業を認証することができた。	神奈川文化プログラム認証制度：認証件数486件	—	—	—	
県実施事業等における文化芸術団体との連携・協働の推進							
共生共創事業	障がい者や高齢者等が出演する公演事業等を実施した。	障がい者や高齢者等が出演する公演事業のほか、シニア劇団の創設やシニアダンス企画、多文化共生に関する企画の実施など、参加型事業も実施した。	4,267人	通年	オンライン	再生回数：48,201回 公演回数：33回	重点施策5
(再)マグカル・パフォーマンス・アカデミー	マグカルの核となるような、専門的な舞台芸術人材を育成するため、実践的な歌・ダンス・演技のレッスンを行った。	常任の講師に加え、特別講師を迎えレッスンを行った。通常とは違った内容のレッスンを行うことで、生徒のモチベーションの向上を図った。	373人	練習日：週2日、計87日（原則、火曜日と木曜日） 成果発表会：新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 本公演：2020年12月19日、20日（2公演）	県立青少年センター 紅葉坂ホール	—	重点施策5
(再)人形浄瑠璃文楽	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承・発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演した。	青少年の参加者増を狙って、文楽・人形浄瑠璃クラブがある学校等の生徒を招待した（2校15人）。	689人	2020年10月18日 2回	青少年センター紅葉坂ホール	—	重点施策5
(再)相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演を行うワークショップを行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部のワークショップは中止となった。	マスク着用、手指消毒及び換気の徹底等、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に留意した。	160人	2020年12月12日	平塚中等教育学校	—	重点施策5
(再)カナガワリ・古典プロジェクトin鎌倉	鎌倉市を舞台に、県内の古典や各地の貴重な伝統文化の魅力・価値を再発見し、将来にわたり継承していくことという機運につなげていくことを目指し、民俗芸能団体の演目や地域の文化財の映像などを制作し、配信した。	例年行っている公演形式の民族芸能のフェスティバル事業に替えて、コロナ禍における新しい生活様式として民俗芸能団体の演目や地域の文化財の映像などを制作し、配信した。	694,553人(オンライン)	2021年2月15日より順次配信	鎌倉芸術館(撮影場所)	民俗芸能団体の演目や地域の文化財の映像などを制作したことにより、アーカイブの要素として後世に残すための取組を実施することができた。	重点施策5

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再)かながわ短編演劇アワード2021	短編演劇及び短編戯曲の全国公募によるコンペティションを開催した。	短編戯曲において、作品テーマをCOVID-19とした。また、最終選考に残った戯曲をweb公開することで、より多くの方に作品に触れてもらう機会を設けた。	【応募数】 短編演劇：37団体 短編戯曲：58作品 【来場者数】 本戦：新型コロナウイルス感染症対策の為無観客（ライブ配信）で開催 ライブ視聴者数（瞬間最多視聴者数）198人 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	本戦：2021年3月20日～21日 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：新型コロナウイルス感染症拡大により中止。	本戦：KAAT神奈川芸術劇場 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：県立神奈川総合高等学校（中止）	—	重点施策5
(再)かながわミュージカルアワード2021	神奈川の地域色豊かなミュージカルの表彰・公演事業を実施し、県内のミュージカル人材の育成及びレベルアップを図った。	神奈川県にゆかりのある題材のミュージカルを公募し、地域色を出した。	【応募数】4団体（上演は2団体を選定） 【来場者数】新型コロナウイルス感染症対策の為無観客（ライブ配信）で開催。 ライブ視聴者数（瞬間最多視聴者数）186人、アーカイブ（総再生回数）615回	アワード公演：2021年3月21日	青少年センター 紅葉坂ホール	—	重点施策5
(再)かながわ伝統文化こども歳時記	伝統芸能のみならず、お祭りや年中行事、伝承遊びといった生活に密着した伝統文化全般に込められた「祈り」をテーマに、邦楽器の演奏や日本舞踊、民俗芸能、伝承遊び等を映像をとおして分かりやすく紹介した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、映像収録配信（約45分）に変更し、3月25日より配信開始した。	視聴回数：465回	2021年3月25日より映像配信開始	青少年センター紅葉坂ホール、県立青少年センター科学部、箱根町宮城野出張所・諏訪神社、葉山にこここ保育園で映像収録	朝日新聞による取材記事（写真2枚掲載）が掲載された。	重点施策5
浮世絵カフェ	エンターテインメントレストランを開設し、「和」をテーマとしたデジタル映像の映写と浮世絵を活用したパフォーマンスを行うショーを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策5
(再)歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策5
(再)県立施設等における文化発信事業	県立施設等において、伝統文化の公演や伝統工芸等の展示、VRゴーグルによる伝統文化の疑似体験等を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。	—	—	—	—	—	重点施策5
(再)相模人形芝居大会	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部のワークショップは中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策5

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再)青少年対象演劇鑑賞会	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して、舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育てていくため、優れた演劇やダンスの鑑賞会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 5
(再)青少年のための芝居塾	県内の地域・歴史等を取り入れた演劇・ミュージカルを創作し、公募した青少年により上演する実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 5
デジタルアートプロジェクト	湘南地域を中心に、自然に動くもの(波など)に光をあてるナイトウェーブアートやプロジェクションマッピングを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 5
(再)日本舞踊に学ぶ「和」の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 5
(再)能楽ワークショップ	謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 5
(再)舞台芸術の創作活動を通してコミュニケーション力の向上を図る青少年支援事業	平成29年度から3年間に渡り、青少年センター青少年サポート課と同ホール運営課が連携して実施してきた「舞台芸術活用青少年支援事業」の集大成として、青少年を取り巻く不登校等の心の課題に対し舞台芸術の力が解決の糸口の一つとなる可能性を提示することを目的に、その取組成果を舞台作品として上演する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 5
文化芸術団体相互の連携の推進							
(再)かながわ児童劇グループ交流会(かながわ人形劇フェスティバル)	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、映像配信事業として実施した。	出演団体の募集について、高校や短大で活動している複数の人形劇サークルにも出演協力の依頼を行った。	出演参加者：24人 配信視聴者：244人	2021年2月27日、28日 全4公演	青少年センタースタジオHIKARI	—	重点施策 5
(再)かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟団体が一堂に会し、県外の団体も参加して創作太鼓演奏を披露する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 5
(再)かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 5

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(5) 子どもの文化芸術活動の充実							
ア 文化芸術の鑑賞機会の提供							
学校等と連携したアウトリーチの展開							
神奈川フィル学校出張コンサート	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校や小学校、病院等を対象に、学校出張コンサートを実施するものであるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の小学校及び中学校のみ実施し、ほかは中止した。	各楽器の音色の違いや特徴が分かるように楽器紹介のコーナーを設けた。	480人	2020年4～2021年1月 (22回中止、5回実施)	川崎市内の小学校及び中学校	—	重点施策2
(再)音楽堂における芸術文化鑑賞普及事業	アウトリーチなど（4事業1演目1公演17企画27回）	新型コロナウイルス対応として一部オンライン配信により実施した。	526人 (オンライン視聴者数12,437回)	2020年9月12日～2021年3月31日	音楽堂ほか	—	重点施策2
三ツ桶敏子のオーケストラの大好き!	夏休みの子供向け音楽体験企画を実施した。	当初の計画では、体験ワークショップ及びアウトリーチ等を行う事業であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン配信（全7回）により実施した。	0人 (オンライン配信視聴者7,206)	Web配信2020年10月1日～2021年3月31日	音楽堂（オンライン配信）	オンライン配信のほか、県内の小学校全校及び外国人学校954校にDVDを配布した。	重点施策2
音楽堂ふれあいアウトリーチ	プロによる養護学校向けの演奏会と特別授業を実施した。	参加者と講師のライブ映像と音声とを、5Gを利用してオンラインでつなぐ双方向コミュニケーション授業を実施した。	0人 (オンライン配信参加者21)	Web授業:2021年3月5日	パシフィコ横浜と横浜南養護学校（県立こども医療センター内設置の病弱特別支援学校）	—	重点施策2
「子どもたちの音楽芸術体験事業」神奈川フィル・ゆめコンサート	神奈川フィルによる実演指導やオーケストラとの共演を通じて、本物の芸術に触れる機会を提供することにより、子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を育むことを目的として実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となった。	新型コロナウイルス感染防止対策のため、学校の希望に応じてワークショップの実施や演奏会の形態の変更等を行った。	ワークショップ:163人 演奏会211人	ワークショップ:2020年11月24日、25日 演奏会:2021年2月8日、10日	ワークショップ:平塚市立金目小学校、二ノ宮町立一色小学校 演奏会:二ノ宮町立一色小学校、茅ヶ崎市立今宿小学校	—	重点施策2
県立文化施設での子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施							
県立歴史博物館における子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施	特別展開連の子ども向け催し物2本を開催するとともに、近隣9館と共同企画した夏休み子ども向けイベント「ミュージアムミッション」をWEB上で開催した。また、子ども向け新規サイト「おうちでかながわけんぱく」や高校生向けの「高校生のための展示資料50」をホームページに掲載した。	新型コロナウイルス感染防止対策として、「ミュージアムミッション」ではミュージアムを実際に訪れることに替えて、特設サイトを開設し其催しに関するクイズをWEB上で出題する形式で開催した。また、「おうちでかながわけんぱく」に所蔵資料を使った塗り絵等を掲載した。	【参加者】特別展開連:7人 【閲覧者】ミュージアムミッション:5,769人 (実施期間中)	ミュージアムミッション 2020年8月1日～8月30日 他	県立歴史博物館	—	重点施策2
KAATキッズプログラム2020「二分間の冒険」ダイジェスト映像+クイズ「ダレカハドコダ」	子どもを対象とした舞台及びクイズ	新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、公演がすべて中止となったため、作品のダイジェスト動画及びクイズ動画をオンライン配信。	再生回数:2,072回	Web配信2020年8月24日～9月30日	—	KAAT神奈川芸術劇場で創作するキッズ作品については毎年全国ツアーを実施しているが、好評であることから、ダイジェスト動画を配信して、地方との関係性の維持に努めた。	重点施策2
(再)ホームクリスマスコンサート	子育て支援事業として、子育て中の親子を対象としたランチタイムコンサートの内容を一部変更して実施した。	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、無観客で実施することを検討。施設内に配信用光回線を設置し、無観客ライブ配信で実施した。	ライブ視聴者数190人、アーカイブ視聴者数943人	2020年12月8日	かながわアートホール	—	重点施策2

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
ファンタスティック・ガラコンサート「子どものためのステージ見学+ワークショップ付きコンサート「くるみ割り人形の世界へようこそ」	ファンタスティック・ガラコンサート2020の関連企画として、子どものためのステージ見学及びワークショップ付きコンサートを実施した。	大ホールでのオーケストラ公演に合わせて同日に子ども向けのワークショップ付きコンサートを実施し、幅広い県民の鑑賞ニーズに対応した。	98人	2020年12月29日	県民ホール本館	—	重点施策2
オープンシアター2020「音楽×建築×アートでお正月」	家族で楽しめる建物ツアーやライブ	新型コロナウイルス感染症対策として、予定していたプログラムの一部を後日オンライン配信した。	59人 (オンライン配信視聴者2,568)	2021年1月6日 (Web配信1月31日～3月31日)	音楽堂	—	重点施策2
(再)かながわ児童劇グループ交流会(かながわ人形劇フェスティバル)	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、映像配信事業として実施した。	出演団体の募集について、高校や短大で活動している複数の人形劇サークルにも出演協力の依頼を行った。	出演参加者：24人 配信視聴者：244人	2021年2月27日、28日 全4公演	青少年センタースタジオHIKARI	—	重点施策2
県立近代美術館における子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、対面形式のワークショップ等を中止した代わりに、オンライン美術館ツアーおよび教材の無償提供、貸出を行った。	対面形式ではなく非参集での学びの支援を提供した。	オンライン美術館ツアー：20名 教材無償提供：29件1167個 貸出：1件8個	オンライン美術館ツアー：2021年3月2日 教材無償提供：2020年4月8日他 貸出：2020年10月21日～10月27日	オンライン美術館ツアー：神奈川県立横浜南養護学校	教材の提供・貸出：県立こども医療センター他	重点施策2
(再)神奈川フィル・カジュアルコンサート	神奈川フィル・ジュニアオーケストラ修了公演に代わり、内容を一部変更した神奈川フィルによるカジュアルコンサートを実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、無観客ライブ配信で実施した。	ライブ視聴者数652人、アーカイブ視聴者数2,823人	2021年3月28日	かながわアートホール	—	重点施策2
オープンシアター2020	県民ホールにて、ホールを身近に感じてもらう取組として、オープンシアターを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2
(再)歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2
県立金沢文庫における子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施	小学校高学年を対象に、称名寺と金沢文庫についての学習事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2
青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、演劇及び舞踊の鑑賞会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再) 青少年対象 演劇鑑賞会	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して、舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育てていくため、優れた演劇やダンスの鑑賞会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 2
(再) 青少年ダンス鑑賞会	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育てるとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、舞踊の鑑賞会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 2
文化芸術団体との連携による子どもたちを対象とした音楽体験事業等の実施							
神奈川フィル ハーモニー管弦 楽団公開リハー サル	アートホールで行う神奈川フィルのリハーサルを無料公開する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 2
神奈川フィル・ ジュニアオーケ ストラ2020	小学4年生～高校3年生の子どもたちがアートホールに集い、神奈川フィル団員の指導を経て神奈川フィルと共演する事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 2
(再) 巡回オペラ の実施	県民ホールの出張公演として、県内の施設で子ども向けオペラを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 2
かなフィルラン ド～ミュージック プレイパーク &ファミリー緑 日～	神奈川フィルによるコンサートや楽器体験、地元ボランティアによるバルーンアート、親子工作等のイベントを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 2
県立近代文学館での児童文学を題材とした展覧会等の実施							
企画展「佐藤さ とる展-『コロ ボックル物語』 とともに-	デビュー作『だれも知らない小さな国』（1959年）から始まる「コロボックル物語」シリーズを半世紀にわたり書き続けた、佐藤さとる（1928-2017）の企画展。佐藤家をはじめとする方々から寄贈された（佐藤さとる文庫）資料や、無二のコンビである画家・村上勉が描いた「コロボックル物語」シリーズ、「おおきな きが ほしい」「かげにもらったゆめ」の挿絵原画など、約450点の資料によりその作品世界を展覧する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
朗読コンサート「佐藤さとの世界」	神奈川近代文学館のホール等の会場を利用して、企画展「佐藤さとの展-『コロボックル物語』とともに-」に即した内容の朗読コンサートを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
ギャラリートーク「佐藤さとの展-『コロボックル物語』とともに-」	企画展「佐藤さとの展-『コロボックル物語』とともに-」に即した内容の展示説明会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
イ 文化芸術活動の体験機会の充実							
子どもを対象とした公募美術展開催等の創作活動の支援							
第56回神奈川県美術展中高生特別企画展	例年、青少年の作品発表の機会の提供、創作活動の支援及び県美展の活性化を図るため、公募美術展を開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2
文化芸術団体との連携・協働による子どもたちの文化芸術活動の推進							
(再)マグカル・パフォーミング・アーツ・アカデミー	マグカルの核となるような、専門的な舞台芸術人材を育成するため、実践的な歌・ダンス・演技のレッスンを行った。	常任の講師に加え、特別講師を迎えレッスンを行った。通常とは違った内容のレッスンをを行うことで、生徒のモチベーションの向上を図った。	373人	練習日：週2日 計87日（原則、火曜日と木曜日） 成果発表会：新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 本公演：2020年12月19日、20日（2公演）	県立青少年センター 紅葉坂ホール	—	重点施策2
(再)ファンタスティックガラコンサート 子どものためのステージ見学+ワークショップ付コンサート「くすみ割り人形の世界へようこそ」	ファンタスティック・ガラコンサート2020の関連企画として、子どものためのステージ見学及びワークショップ付きコンサートを実施した。	—	98人	2020年12月29日	県民ホール本館	—	重点施策2
(再)青少年のための芝居塾	県内の地域・歴史等を取り入れた演劇・ミュージカルを創作し、公募した青少年により上演する実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2
青少年センター、藤野芸術の家での文化芸術を体験する機会の提供							
藤野芸術の家での文化芸術を体験する機会の提供	<p>【体験事業】</p> <p>多くの方が気軽に陶芸やガラス工芸などの芸術体験を親しむための常設事業、募集型の体験事業や季節限定体験事業を実施した。なお、夏休みの自由研究に適した教室「ガリレオ温度計作り」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</p> <p>【活動支援事業】</p> <p>地域と連携して、絵画や写真等の展示・芸術活動発表の場を提供した。なお、地元講師を迎えた工芸講座並びに藤野村歌舞伎公演と藤野席書き大会は、新型コロナウイルスの影響により中止した。</p>	<p>【体験事業】</p> <p>体験事業では、季節に合った期間限定メニューの実施のほか、新たな体験メニューを実施するなど、何回でも新たな体験を楽しめる工夫を行った。</p> <p>【活動支援事業】</p> <p>活動支援事業では、地域人材や資源を活用し、地域の障害者施設入居者の作品展示の協力と展示についてのサポートを実施した。</p>	<p>【体験事業】</p> <p>体験事業合計 16,347人 木工体験 5,359人 陶芸体験 3,565人 ガラス工芸等 7,423人</p> <p>【活動支援事業】</p> <p>活動支援事業合計 768人 絵画等展示 768人</p>	<p>【体験事業】 通年</p> <p>【活動支援事業】 絵画等展示 通年</p>	藤野芸術の家	—	重点施策2

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再)青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、演劇及び舞踊の鑑賞会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2
(再)青少年対象演劇鑑賞会	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して、舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育てていくため、優れた演劇やダンスの鑑賞会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2
(再)青少年ダンス鑑賞会	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、舞踊の鑑賞会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2
伝統芸能ワークショップの実施							
(再)相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部のワークショップは中止となった。	マスク着用、手指消毒及び換気の徹底等、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に留意した。	160人	2020年12月12日	平塚中等教育学校	—	重点施策2
(再)日本舞踊に学ぶ「和」の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2
(再)能楽ワークショップ	謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2
県立近代文学館での子どもたちが読書に親むための事業の実施							
(再)かなぶんキッズクラブ（紙芝居、映画会、絵本の読み聞かせ等）	子どもの長期休み期間に合わせて「かなぶんキッズクラブ」として紙芝居、映画会を実施した。	例年実施していた夏休み期間のイベントは、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった。春休みの映画会は定員を50%に減らし開催、紙芝居はオンライン公開とした。	107人	①子ども映画会：2021年3月30日 ②紙芝居：2021年3月26日～オンライン公開	神奈川近代文学館	紙芝居のオンライン公開では年度内に計344件の視聴があった。	重点施策2
子どもを対象とした民俗芸能フェスティバルの開催							
(再)かながわ伝統文化こども歳時記	伝統芸能のみならず、お祭りや年中行事、伝承遊びといった生活に密着した伝統文化全般に込められた「祈り」をテーマに、邦楽器の演奏や日本舞踊、民俗芸能、伝承遊び等を映像をとおして分かりやすく紹介した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、映像収録配信（約45分）に変更し、3月25日より配信開始した。	視聴回数：465回	2021年3月25日より映像配信開始	青少年センター紅葉坂ホール、県立青少年センター科学部、箱根町宮城野出張所・諏訪神社、葉山にここ保育園で映像収録	朝日新聞による取材記事（写真2枚掲載）が掲載された。	重点施策2

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(6) 学校教育における文化芸術活動の充実							
文化芸術団体との連携による音楽体験事業等の実施							
(再)神奈川フィル学校出張コンサート	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校や小学校、病院等を対象に、学校出張コンサートを実施するものであるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の小学校及び中学校のみ実施し、ほかは中止した。	各楽器の音色の違いや特徴が分かるように楽器紹介のコーナーを設けた。	480人	2020年4～2021年1月 (22回中止、5回実施)	川崎市内の小学校及び中学校	—	重点施策2
横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	お箏のワークショップや声楽コンサートの実施した。	各学校の状況に合わせて、学校側の希望を取り入れながらミニコンサートを開催した。	335人 (①185人 ②150人)	①2020年11月18日 ②2020年11月25日	①横浜市立末吉小学校 ②横浜市立荏田西小学校	—	重点施策2
(再)「子どもたちの音楽芸術体験事業」神奈川フィル・ゆめコンサート	神奈川フィルによる実演指導やオーケストラとの共演を通じ、本物の芸術に触れる機会を提供することにより、子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を育むことを目的として実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となった。	新型コロナウイルス感染防止対策のため、学校の希望に応じてワークショップの実施や演奏会の形態の変更等を行った。	ワークショップ：163人 演奏会211人	ワークショップ：2020年11月24日、25日 演奏会：2021年2月8日、10日	ワークショップ：平塚市立金目小学校、二ノ宮町立一色小学校 演奏会：二ノ宮町立一色小学校、茅ヶ崎市立今宿小学校	—	重点施策2
かながわ伝統芸能祭などの伝統芸能普及振興事業の実施							
(再)相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部のワークショップは中止となった。	マスク着用、手指消毒及び換気の徹底等、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に留意した。	160人	2020年12月12日	平塚中等教育学校	—	重点施策2
(再)かながわ伝統文化こども歳時記	伝統芸能のみならず、お祭りや年中行事、伝承遊びといった生活に密着した伝統文化全般に込められた「祈り」をテーマに、邦楽の演奏や日本舞踊、民俗芸能、伝承遊び等を映像とおおして分かりやすく紹介した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、映像収録配信（約45分）に変更し、3月25日より配信開始した。	視聴回数：465回	2021年3月25日より映像配信開始	青少年センター紅葉坂ホール、県立青少年センター科学部、箱根町宮城野出張所・諏訪神社、葉山にこにこ保育園で映像収録	朝日新聞による取材記事（写真2枚掲載）が掲載された。	重点施策2
(再)かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2
(再)日本舞踊に学ぶ「和」の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを実施するワークショップを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2
文化芸術による子供の育成事業（文化庁事業）の県内での展開							
文化芸術による子供育成総合事業	子供たちに対し質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、ワークショップ等を実施することにより、子供たちの豊かな想像力やコミュニケーション能力等を養い、文化芸術に対する知識および教養の向上を図った。	一方的に公演を行うだけでなく、児童・生徒と共演したり、実技指導をするなど、児童・生徒が芸術体験できるよう工夫している。	巡回公演事業：22校実施 派遣事業：32校中32件実施 子供 夢・アート・アカデミー：2校実施	2020年6月～2021年2月	各学校の教室・体育館など	—	重点施策2

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
中学・高校文化部活動の充実・支援の実施							
(再)学校演劇交流フェスティバル	学校演劇における創作のスキルアップを目的とした試演とワークショップを、新型コロナウイルス感染症により活動休止等となった中学校・高等学校の演劇部・ダンス部を対象に、自宅学習及び学校再開後の部活動での活用できるよう、オンラインによる講習会(演劇部門、ダンス部門)に切り替えて実施した。	コロナ禍における自宅での研鑽及び学校再開後の部活動において活用してもらうため、オンラインによる講習会(演劇部門、ダンス部門)を実施し、舞台芸術活動に取り組む青少年を支援した。	視聴回数：2,175回 課題応募者：28人 動画活用：42校263人 オンライン参加者：28人	①演劇部門 オンライン講習会：2020年5月22日 映像配信開始日：2020年7月2日 ②ダンス部門 オンライン講習会：2020年5月25日、6月8日 映像配信開始日：2020年7月2日	—	一般視聴が可能な動画については、各学校に対する広報のみであったにもかかわらず、演劇編、ダンス編(2回分)それぞれ1,000件を超える視聴を得られた。	
文化部活動指導者研修講座の実施	文化部の部活動インストラクターを対象とした研修講座を実施した。	講座を受講し、1年以上の指導実績があり、校長が認めれば、部活動の校外の活動について単独引率を可能としている。	文化部活動インストラクター9人	2020年9月26日	総合教育センター善行庁舎	—	
(再)青少年ダンス発表会	表現芸術の充実と向上を図ることを目的に創作舞踊発表会を実施した。	各学校(団体)における日頃の取り組みの成果を発表する場を提供するという「発表会」の本来の趣旨に鑑み、今年度は講師による講評を行わないこととする見直しを行った。	1,157人	2020年11月1日	青少年センター紅葉坂ホール	—	
(再)小・中・高等学校演劇発表会	小・中・高等学校を対象に、演劇の発表会を実施した。	—	小学生：新型コロナウイルスの感染予防のため中止 中学生：693人 高校生：316人	中学校：2020年12月5日、6日 高等学校：2020年11月14日、15日	青少年センター紅葉坂ホール	—	
(再)青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による演劇・ダンスの創造活動の発展向上に資することを目的として、中高生向けの3つの先端的なワークショッププログラム(映像、ダンス振付、舞台美術)を実施した。	コロナ禍での実施となり、ダンス編はZOOMを活用し、参加者の自宅と青少年センター練習室(講師)を繋いだリアルタイムでのオンラインワークショップとして実施した。	①映像編17人 ②ダンス編12人 ③舞台美術編16人	①映像編 2021年2月22日 ②ダンス編 2021年2月13日、14日 ③舞台美術編 2021年3月28日	①映像編：県立相模原弥栄高等学校 ②ダンス編：県立青少年センター練習室 ③舞台美術編：県立青少年センター紅葉坂ホール	—	
(再)演劇部実践指導塾「演劇部お助け講座」	中・高等学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施した。	中高演劇部のニーズや演劇界の情勢などを考慮し講師を選定した。	51人(中学校) 56人(高等学校)	2021年3月20日～3月30日(4日間)	県内4会場	コロナ禍での限られた他校との交流の機会に、参加した生徒たちも活発に動いていた。	
(再)心技体+創ワークショップ	『知識は力なり』をテーマに、今や浜山のジャンルに細分化されているストリートダンスを、スキルだけでなくそのカルチャーや歴史、ステップの意味や名前等を学びながらダンスをより深く理解することを目的としたワークショップを実施した。	—	55人	2021年3月30日、3月31日	青少年センター 研修室1	座学でHIPHOPの歴史を学び、BREAK INの特徴を生かしながら、HIPHOPにも取り入れることができるということが講師のデモンストレーションで学ぶことができた。	
(再)演劇指導者のための実践的ワークショップ	中学校・高等学校の演劇部指導者、演劇部等の指導的立場にある生徒等を対象に音響、照明、舞台のノウハウを学ぶためのワークショップを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
(再)青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
全国高等学校日本大通りストリートダンスバトル	ストリートダンスを通じて、健全な青少年の育成を図り、「日本大通り」をストリートダンスの聖地として発信するために、第5回大会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
(再)中学校創作劇発表会	中学校を対象に、創作劇の発表会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
(再)中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する講習会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
文化フェスタの開催	中学校、高等学校等における文化・芸術活動の活性化及び充実を図るため、県内の中学校、高等学校が発表、展示、実演を通じて相互交流を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
県中学・高等学校総合文化祭の開催							
県高等学校総合文化祭の開催	県高等学校総合文化祭において、高校生等の相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化を促進した。	—	総合文化祭（一部Web開催）	2020年10月24日～2021年1月17日（一部Web開催）	県内各所	—	
県立高校における文化芸術にかかわる科目等の充実及び文化芸術の発展に寄与する人材の育成							
花育を目的とした「生け花」の講座	生徒たちが「生け花」に触れる機会を提供した。	—	276人	2020年10月～2021年2月 14回実施	相原高校、吉田島高校、中央農業高校、平塚農商高校、三浦初声高校	—	重点施策2
県立高校における舞台芸術に関する学科の新設に向けた準備	2021度から県立神奈川総合高校に舞台芸術科を設置するため、県立高校改革実施計画（Ⅱ期）に基づいて作成した設置計画を基に年間指導計画などを作成し、必要な施設・設備を整備する工事を実施するなど準備を進め、入学者選抜を行った。	—	—	—	神奈川総合高校	2021年1月校舎改修工事完了 2021年2月多目的ホール改修工事基本設計完了	重点施策2
芸術家等や文化芸術団体と連携した教育の実施							
(再)大学等と連携した人材養成プログラムの実施	東京音楽大学と連携して感染症対策のもとでの演奏会の実現というテーマでの人材育成を実施した。	—	10人	2021年2月19日	県民ホール本館	コロナ禍のもとで、安全安心に演奏会を実施することについての実践的な研修の場となった。	重点施策2
学校と文化施設との連携の推進							
(再)音楽堂における芸術文化鑑賞普及事業	アウトリーチなど（4事業1演目1公演17企画27回）	新型コロナウイルス対応として一部オンライン配信により実施した。	526人 （オンライン視聴者数12,437回）	2020年9月12日～2021年3月31日	音楽堂ほか	—	重点施策2

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再)三ツ橋歌子のオーケストラ大好き！	夏休みの子供向け音楽体験企画を実施した。	当初の計画では、体験ワークショップ及びアウトリーチ等を行う事業であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン配信（全7回）により実施した。	0人 （オンライン配信視聴者7,206）	Web配信2020年10月1日～2021年3月31日	音楽堂（オンライン配信）	オンライン配信のほか、県内の小学校全校及び外国人学校954校にDVDを配布した。	重点施策2
(再)音楽堂ふれあいオーケストラ	プロによる養護学校向けの演奏会と特別授業を実施した。	参加者と講師のライブ映像と音声とを、5Gを利用してオンラインでつなぐ双方向コミュニケーション授業を実施した。	0人 （オンライン配信参加者21）	Web授業：2021年3月5日	パシフィコ横浜と横浜南養護学校（県立こども医療センター内設置の病弱特別支援学校）	—	重点施策2
(7) 高齢者、障がい者等の文化芸術活動の充実							
美術展など高齢者を対象とした文化芸術事業の実施							
かながわシニア美術展	県内在住で昭和37年4月1日以前生まれ（令和3年3月31日時点で59歳以上の者）のアマチュアを対象に、日本画、洋画、彫刻・工芸、書、写真の5部門で作品を公募し、入選作品を展示するとともに、優秀作品の表彰を行う事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2、4
県立施設における文化芸術活動の場の提供などによる障がい者の自主的な活動の支援							
ライトセンター普及啓発事業	神奈川県ライトセンターにおいて、視覚障害者同士の交歓活動となる文化クラブの場を提供した。	機関紙「ライトセンターだより」やホームページによる情報提供などで広い周知を行った。	163人	通年 月1回～月3回（クラブ活動により異なる） ※新型コロナウイルスの影響で、2020年度は2020年9月17日から2021年1月6日までの期間で実施。	神奈川県ライトセンター	毎年啓発活動として実施している『ライトセンターフェスティバル＆「あい・あい」ひろば2020』、『ライトセンター音楽祭』は新型コロナウイルス拡大防止のため中止とした。	重点施策2、4
障がい者芸術文化活動普及支援事業	「神奈川県障がい者芸術文化活動支援センター」を設置し、相談支援事業やワークショップの実施・コーディネーターの養成等の人材育成事業等を行った。	コーディネーター養成のための研修会をオンラインで開催し、多くの方に気軽に見てもらえるように工夫した。また、ワークショップの実施も一部オンラインで実施し、感染症対策をしながら事業に取り組んだ。	相談件数：42件 研修参加者数：延べ188人（全3回） ワークショップ実施事業参加者数：延べ147人（4箇所12回） 事業成果発表：延べ197名（全4回）	相談：平日11時～17時 研修：①2020年11月6日～11月9日 ②2021年1月22日～1月25日 ③2021年2月5日～2月8日（すべてオンライン配信）	相談：神奈川県障がい者芸術文化活動支援センター 研修：オンライン配信 ワークショップ実施事業：障害福祉サービス事業所 事業成果発表：①相模原市民ギャラリー ②障害者スポーツ文化センターラポール上大岡③ウェブ公開④オンライン配信	—	重点施策2、4
神奈川県障害者社会参加推進センター事業（文化・芸術祭の開催）	障がい当事者の文化的活動（絵画、工作、ダンス、合唱等）の発表を行う場を用意し、社会参加の推進を図った。	新型コロナウイルスの影響により舞台発表は中止としたが、感染症対策を行いつつながら作品展示のみを行った。	95人	2020年12月19日、20日	海老名市文化会館	—	重点施策2、4

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
特別支援学校、障がい者施設、高齢者施設等での県立文化施設や文化芸術団体によるアウトリーチの実施							
(再)神奈川フィル学校出張コンサート	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校や小学校、病院等を対象に、学校出張コンサートを実施するものであるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の小学校及び中学校のみ実施し、ほかは中止した。	各楽器の音色の違いや特徴が分かるように楽器紹介のコーナーを設けた。	480人	2020年4～2021年1月 (22回中止、5回実施)	川崎市内の小学校及び中学校	—	重点施策2、4
ともいきアートサポート事業（創作×地域展示）	県立高津養護学校生田東分教室高等部にアーティストを派遣し、授業でワークショップを実施するとともに、創作作品の展示会をギャラリーで開催した。	・コロナ禍による緊急事態宣言中の展示会で、オンライン展示も同時開催した。 ・アート団体に所属する特別支援学校出身のアーティストが授業でアシスタントとして参加した。	ワークショップ計3日間 延べ32人参加 展示会 来場者数100人	ワークショップ 2020年8月31日、9月14日、10月12日 計3日 展示会 2021年3月6日～11日	ワークショップ 県立高津養護学校生田東分教室 展示会 ギャラリーFLAT	県のたより12月号の特集記事の中で紹介した。	重点施策2、4
ともいきアートサポート事業（創作×地域展示）	県立平塚盲学校小学部にアーティストを派遣し、授業でワークショップを実施するとともに、創作作品の展示会を大学の博物館スペースで開催した。	・コロナ禍による緊急事態宣言中の展示会で、オンライン展示も同時開催した。 ・学芸員を目指す大学生が実習として授業でアシスタントとして参加した。	ワークショップ計5日間 延べ20人参加 展示会 来場者数1,043人	ワークショップ 令和2020年10月12日、19日、26日、11月2日、12月3日 計5日 作品を制作した児童の展示鑑賞会 2021年3月2日 展示会 2021年3月1日～31日	ワークショップ 県立平塚盲学校 展示会 東海大学松前記念館	県のたより12月号の特集記事の中で紹介 NHK首都圏ニュース8:45で授業ワークショップ風景を取り上げてもらった。(2020年12月3日)	重点施策2、4
ともいきアートサポート事業（創作×地域展示）	県立茅ヶ崎養護学校中等部にアーティストを派遣し、授業でワークショップを実施するとともに、創作作品の展示会を美術館で開催した。	・4年先までスケジュールが埋まっている美術館を展示会場とするため、既存の展示会との共催を行った。 ・音や香り、光など五感で感じる展示空間を作るとともに、映像作品の発表を行った。	展示会 来場者5,088人 うっしおみ体験者 3,522人	展示会 2020年11月14日～12月6日	茅ヶ崎市美術館	—	重点施策2、4
ともいきアートサポート事業（創作×地域展示）	県立小田原養護学校高等部の生徒たちが就労継続支援事業所に通ってワークショップを行って制作した作品を中心とした展示会を市内の民間ギャラリーで開催した。	・小田原養護学校の在校生・卒業生の作品を中心に展示した。 ・事業費を補うため、協働団体が障がい者が制作したアートグッズを販売した。 ・県西地域の特別支援学校のみならず、小中学校へもチラシの配布を行った。	展示会 来場者400人 ギャラリートーク 参加者100人	展示会 2020年12月16日～21日 ギャラリートーク 2020年12月19日	展示会・ギャラリートーク ギャラリーNEW新九郎	県のたより12月号の特集記事の中で紹介した。	重点施策2、4
(再)音楽堂ふれあいアウトリーチ	プロによる養護学校向けの演奏会と特別授業を実施した。	参加者と講師のライブ映像と音声で、5Gを利用してオンラインでつなぐ双方向コミュニケーション授業を実施した。	0人 (オンライン配信参加者21)	Web授業:2021年3月5日	パシフィコ横浜と横浜南養護学校（県立こども医療センター内設置の病弱特別支援学校）	—	重点施策2、4
県立文化施設での託児サービス等の実施							
託児サービスの実施	県民ホール及びKAAT 神奈川芸術劇場にて託児ルームを設置し、運用した。	乳幼児を育てる県民に対する、文化芸術の鑑賞機会の提供に寄与するため、主催公演において、託児ルームを設置した。	県民ホール本館：7人 KAAT神奈川芸術劇場：30人	県民ホール本館：主催公演 4回（4演目） KAAT神奈川芸術劇場：主催公演 18回（10演目）	県民ホール本館、KAAT神奈川芸術劇場	—	重点施策2、4

1 県民の文化芸術活動の充実

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数等	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
文化芸術を通じた共生社会の実現に向けた取組の検討							
(再) 共生共創事業	障がい者や高齢者等が出演する公演事業等を実施した。	障がい者や高齢者等が出演する公演事業のほか、シニア劇団の創設やシニアダンス企画、多文化共生に関する企画の実施など、参加型事業も実施した。	4,267人	通年	オンライン	再生回数：48,201回 公演回数：33回	重点施策2、 4
視覚言語がつくる演劇のこぼれ	「音で観るダンスのワークインプロセス」の後継事業としての新たな取組み。視覚から多くの情報を受け取り表現するろう者と、視覚言語にフォーカスした演劇体験をつくるプロジェクトを実施した。	新型コロナウイルス対応として、ラボ（3回）、上演&トーク（1回）をオンラインにて配信した。	0人 (オンライン配信視聴者525)	2020年8月29日、9月27日、11月25日、 2021年3月21日～ (公開終了日未定)	KAAT神奈川芸術劇場等	—	重点施策2、 4
(再) オープンシアター2020	県民ホールにて、ホールを身近に感じてもらう取組として、オープンシアターを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2、 4
東京2020 NIPPON フェスティバル「ONE - Our New Episode - in KANAGAWA」	東京2020パラリンピック競技大会にあわせて開催される、東京NIPPONフェスティバルの文化プログラムを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策2、 4

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(1) 文化芸術に関する交流の推進							
ア 地域間交流の推進							
他県との文化芸術を介した交流の推進							
(再)神奈川芸術劇場(KAAT)での企画制作事業の実施	KAAT神奈川芸術劇場プロデュース作品等を県内他施設や他府県で公演したが、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの公演が中止となった。	KAATでの実績がある人気作品を各地で上演した。	2,241人	通年 2演目6公演	まつもと市民芸術館 ほか	—	
県立金沢文庫における文化財の貸出、借入れ	県外の博物館等の展示に対して資料の貸出を行った。また、金沢文庫での特別展の実施にあたり、個人等から資料の借入れを行った。	—	—	—	—	県外の博物館等の特別展への貸出：5点（東北歴史博物館、大阪市立美術館） 個人等からの借入れ：9点	
県立近代美術館における巡回展の実施	国内外の近現代美術の調査研究に基づく、巡回型の展覧会（「チェコ・デザイン」展、「フランシス・ベーコン」展）を実施した。	—	入館者数 「チェコ・デザイン」展：10,362名、 「フランシス・ベーコン」展：2,923名 (3月末時点)	「チェコ・デザイン」展：2020年7月31日～9月22日、 「フランシス・ベーコン」展：2020年1月9日～4月11日 (臨時休館期間を含む)	県立近代美術館	—	
県立歴史博物館における収蔵資料の貸出	県外の博物館等の展覧会への収蔵資料の貸出を行った。	貸出先における展示環境等の把握に努め、より良い形で公開ができるよう貸出先と調整を行った。	—	—	—	貸出資料点数：123点（森アーツセンターギャラリー、佐賀県立博物館、京都府京都市文化博物館など14館の博物館・美術館等）。	
国民文化祭への県内文化芸術団体の参加促進							
国民文化祭	国民文化祭の開催県である宮崎県と連携し、参加団体へ国民文化祭の開催及び参加を周知したが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和3年度に延期となった。	—	—	—	—	—	
全国高等学校総合文化祭への参加							
全国高等学校総合文化祭への参加	全国高等学校総合文化祭への生徒派遣を通して、相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化を促進した。	—	全国高等学校総合文化祭・佐賀大会（開会式・専門部門26部門各会場、閉会式参加生徒数：延べ約653人） (Web開催に変更「WEB SOUBUN」)	2020年7月31日～8月6日（「WEB SOUBUN」は2020年7月31日～10月31日）	—	—	
県高等学校総合文化祭の開催							
(再)県高等学校総合文化祭の開催	県高等学校総合文化祭において、高校生等の相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化を促進した。	—	総合文化祭（一部Web開催）	2020年10月24日～2021年1月17日（一部Web開催）	県内各所	—	

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
イ 国際文化交流の推進							
神奈川の文化芸術の海外発信							
国際舞台芸術 ミーティング in 横浜2020 (TPAM2020)	舞台芸術に係るプロフェッショナルが公演・ディスカッション・ワークショップ等の多彩なプログラムを通じて、情報交換・相互学習・ネットワークの構築の場を提供した。	新型コロナウイルス対応として同日予定していたプログラムの一部をライブ配信及び録画配信した。	①DULL-COLORED POP 「福島三部作」 1,093人 再生回数：1,528回 ②アイサ・ホクソン 「Manila Zoo（ワーク・イン・バンドミック）」 168人 【合計】 1,261人 再生回数：1,528回	①2021年2月9日～14日 ②2021年2月9日～11日	KAAT神奈川芸術劇場ほか		重点施策 3
(再)浮世絵カフェ	エンターテインメントレストランを開設し、「和」をテーマとしたデジタル映像の映写と浮世絵を活用したパフォーマンスを行うショーを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。						重点施策 3
県民ホールにおける海外の文化芸術団体による公演	県民ホールにて海外の文化芸術団体を誘致し、共催事業として公演を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。						重点施策 3
(再)デジタルアートプロジェクト	湘南地域を中心に、自然に動くもの(波など)に光をあてるナイトウェーブアートやプロジェクションマッピングを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。						重点施策 3
(再)日本大通り流鏝馬騎射式	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。						重点施策 3
三県省道やベトナム等との文化交流事業の推進							
三県省道スポーツ交流事業	神奈川県、中国・遼寧省、韓国・京畿道の青少年によるスポーツの親善試合や交流事業実施のため、神奈川県選手団を京畿道に派遣する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。						重点施策 3
ベトナム文化等交流事業	ベトナム・神奈川の文化や食などをPRするプログラムを盛り込んだイベントを通して、両地域の相互理解を深め、幅広い分野での交流を更に推進するための事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。						重点施策 3
(再)世界文化交流プロジェクト	東京2020競技大会の機会をとらえ、世界的に有名な演劇を公演を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。						重点施策 3

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
国際児童画展の開催							
かながわビエンナーレ国際児童画展	次代を担う子どもたちの夢と創造力を育み、絵画を通じてお互いの生活や文化を理解し、交流を深めるふれあいの場となることを目的として、1981年(昭和56年)から隔年で開催している(応募資格：満4歳以上15歳以下。テーマは自由。)	広く世界各地から作品を募集し、また受賞作品の地球市民かながわプラザでの展覧会や巡回展等を行った。	①作品募集 応募件数：8,062点(内訳)海外58の国と地域：5,494点 県内及び外国人学校：2,568点 ②一次審査及び二次審査 入賞：520点	募集期間 ①2020年9月から11月 ②一次審査：2021年1月21日、22日 二次審査：2021年2月17日	地球市民かながわプラザ等	—	
アーティストインレジデンス							
(再)アーティストインレジデンス推進事業	アートによる国際交流・地域間交流を目的に地域のアート団体と連携して「アーティスト・イン・レジデンス推進事業」を展開した。	2018年度募集では、募集のスケジュール上、4月～5月までのイベントを採択することが不可能だったため、今年度は募集期間を前倒しした。	1,138人【藤沢今昔・まちなかアートめぐり2020】930人 +【波止場のワークショップ2020】18人、190人(動画視聴者数)+【池子の森の音楽祭アーティスト・イン・レジデンス事業(仮称)】中止	【藤沢今昔・まちなかアートめぐり2020】実施日：2020年10月31日～11月23日 【波止場のワークショップ2020】実施日：2021年3月1日～3月15日【池子の森の音楽祭アーティスト・イン・レジデンス事業(仮称)】実施日：2020年10月16日～10月27日中止	【藤沢今昔・まちなかアートめぐり2020】藤沢市(旧稲元屋、関次商店、旧石曾根商店、有田家、藤沢市ふじさわ宿交流館他)、【波止場のワークショップ2020】若葉町ウオーフ、【池子の森の音楽祭アーティスト・イン・レジデンス事業(仮称)】池子の森自然公園 中止	—	
ウ 多文化理解の推進							
「あーすフェスタかながわ」など多文化理解を推進するためのイベントの実施							
(再)共生共創事業	障がい者や高齢者等が出演する公演事業等を実施した。	障がい者や高齢者等が出演する公演事業のほか、シニア劇団の創設やシニアダンス企画、多文化共生に関する企画の実施など、参加型事業も実施した。	4,267人	通年	オンライン	再生回数：48,201回 公演回数：33回	重点施策 3
あーすフェスタかながわ2020	多様な国籍文化や民俗の違いを理解し、認め合うことのできる多文化共生社会の実現をめざし、「あーすフェスタかながわ2020」を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 3
地球市民かながわプラザ等での多文化理解を推進するための講座等の実施							
地球市民かながわプラザ指定管理事業(学習センター事業・相談センター事業 サポート・ネットワーク事業)	多文化共生の地域社会づくりに向け、多文化理解を推進するため、地球市民かながわプラザにおいて、展示学習などの学習センター事業、映像・図書資料の収集提供や外国籍県民相談等の情報・相談センター事業やNPO等活動支援などのサポート・ネットワーク事業等を実施した。	指定管理により、子どもから大人まで幅広い年齢層にプラザの理念や趣旨を魅力的に伝え、家族連れや友達同士で楽しく遊べるプログラムを実施する展示学習事業や大人も対象とした企画展及び関連イベントをバランスよく実施し、また校外学習の受入れ等を行った。	135,536人	2020年4月1日～3月31日	地球市民かながわプラザ	アンケートの結果、97.6%の人が「満足」「どちらかといえば満足」と回答している。	重点施策 3
高等学校への学習プログラム支援事業	高校生が地域と世界へ興味・関心を持つよう、県内高校に国際教育に係る講師を派遣して講演等を実施した。	講演だけではなく、ワークショップなど、より理解を深められる手法を検討し実施している。	11校(2,198名)	2020年5月～2021年3月	県内高校(11校)	—	重点施策 3

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
高校生対象国際セミナー開催事業	①世界の現状や課題に対する理解を深め、豊かなコミュニケーション力を育むためのセミナーを開催した。 ②日本と外国の異なる文化や多様な価値観を知るため、海外で活躍する方々と意見交換を実施した。	意見交換を行うにあたり、どういった手法がより発言しやすくなるか検討し実施している。また、今年度は、コロナ禍でも実施可能な「オンライン」による開催とした。	①42人 ②19人	①2020年12月13日、12月20日 ②2021年2月6日、3月6日	オンライン	—	重点施策 3
国連大学グローバルセミナー開催事業	国連大学が主催する宿泊型のセミナーに参加し、神奈川のNPO/NGOの活動紹介を行う予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大、国連大学の組織再編等により、2020年度は、（公財）かながわ国際交流財団独自で大学生等に向けた、国際機関における教育や各種課題について学ぶセミナーを開催した。	これまでは宿泊型による実施としていたが、コロナ禍でも実施可能な「オンライン」による開催とした。	①13人 ②6人 ③14人 ④7人	①2021年2月13日 ②2021年2月14日 ③2021年2月20日 ④2021年2月27日	オンライン	—	重点施策 3
かながわ国際交流財団との連携による留学生との交流を図る取組の推進							
留学生・元留学生への社会参加促進事業	①県内外外国人留学生を対象に先輩留学生が各種相談を受ける相談会及び基調講演の開催 ②「新型コロナウイルスの影響」に関する留学生アンケート調査の実施 ③「在留資格」と「キャリア」に関するオンラインセミナーの開催	相談会では、母語だけではなくやさしい日本語も活用し、より丁寧な説明に努めている。また、留学生の支援に関わる関係機関との横のつながりを活用することで、より支援の幅を広くとるようにしている。	①8人（相談会） 35人（基調講演） ②237件 ③22人	①2020年10月12日 ②2020年7月1日～7月28日 ③2020年12月19日	①日石横浜ホール ②WEBアンケート ③オンライン	—	重点施策 3
(2) 創造的活動等の推進							
県立文化施設における新たな舞台芸術作品等の創造・発信							
神奈川芸術劇場における新たな舞台芸術作品の創造や新作公演の実施	新たな舞台芸術作品の創造や新作公演を実施した。	国内外の優れた制作者との共同制作公演に積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術の創造・発信を行った。	16,596人 再生回数：5,947回	通年 75公演 オンライン配信4回	神奈川芸術劇場	—	
(再)かながわ短編演劇アワード2020	短編演劇及び短編戯曲の全国公募によるコンペティションを開催した。	短編戯曲において、作品テーマをCOVID-19とした。また、最終選考に残った戯曲をweb公開することで、より多くの方に作品に触れてもらう機会を設けた。	【応募数】 短編演劇：37団体 短編戯曲：58作品 【来場者数】 本戦：新型コロナウイルス感染症対策の無観客（ライブ配信）で開催 ライブ視聴者数（瞬間最多視聴者数）198人 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	本戦：2021年3月20日～21日 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	本戦：KAAT神奈川芸術劇場 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：県立神奈川総合高等学校（中止）	—	
(再)かながわミュージカルアワード2021	神奈川の地域色豊かなミュージカルの表彰・公演事業を実施し、県内のミュージカル人材の育成及びレベルアップを図った。	神奈川県にゆかりのある題材のミュージカルを公募し、地域色を出した。	【応募数】4団体（上演は2団体を選定） 【来場者数】新型コロナウイルス感染症対策の無観客（ライブ配信）で開催。 ライブ視聴者数（瞬間最多視聴者数）186人、アーカイブ（総再生回数）615回	アワード公演：2021年3月21日	青少年センター 紅葉坂ホール	—	

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
文化芸術団体や民間企業・芸術系大学との連携による先駆的で発信性の高い文化芸術の創造							
(再)浮世絵カフェ	エンターテインメントレストランを開設し、「和」をテーマとしたデジタル映像の映写と浮世絵を活用したパフォーマンスを行うショーを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 5
(再)県立等における文化発信事業	県立施設等において、伝統文化の公演や伝統工芸等の展示、VRゴーグルによる伝統文化の疑似体験等を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。	—	—	—	—	—	重点施策 5
(再)デジタルアートプロジェクト	湘南地域を中心に、自然に動くもの(波など)に光をあてるナイトウェーブアートやプロジェクションマッピングを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 5
新進芸術家等への支援の検討							
(再)第36回かながわ音楽コンクール	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためコンクールは中止となったが、2020年10月4日にユースピアノ部門エントリー者を対象としたチャレンジコンサートin音楽堂、11月1日にヴァイオリン部門エントリー者を対象としたチャレンジコンサートinフィリアを実施した。神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者に対し、コロナ禍における発表の場の提供を通じて、一層の人材育成を図る目的で実施した。	時間帯を決めた更衣室の利用等により、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。また、かながわ音楽コンクール審査員による講評を実施する等、中止となったコンクールの代替事業となるよう工夫を行った。	参加者数：107人 鑑賞者数：318人	①チャレンジコンサートin音楽堂：2020年10月4日 ②チャレンジコンサートinフィリア：2020年11月1日	①チャレンジコンサートin音楽堂：神奈川県立音楽堂 ②チャレンジコンサートinフィリア：横浜市青葉区民文化センターフィリアホール	—	—
(3) 文化資源の活用							
ア 文化芸術事業の発信力の強化							
神奈川県発のコンテンツの創出							
(再)共生共創事業	障がい者や高齢者等が出演する公演事業等を実施した。	障がい者や高齢者等が出演する公演事業のほか、シニア劇団の創設やシニアダンス企画、多文化共生に関する企画の実施など、参加型事業も実施した。	4,267人	通年	オンライン	再生回数：48,201回 公演回数：33回	—
(再)浮世絵カフェ	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	—	—	—	—	—	—
マッグカルナイト運営業務	地域の賑わいを創り出すため、誰もが気軽に立ち寄ることが可能な、地域に密着した飲食店等を活用し、一定期間継続・反復することで、集客が見込める事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	—

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
「マグカル」の全県展開							
(再)神奈川文化プログラム認証制度	県内で実施する事業・活動について、一定の要件を満たすものを神奈川県文化プログラムとして認証した。	県内市町村や文化芸術活動団体、文化施設等に積極的に周知を行い、より多くの事業を認証することができた。	神奈川文化プログラム認証制度： 認証件数486件	—	—	—	
(再)マグカル推進事業補助金	神奈川文化プログラムの核となる事業を実施する団体から企画案を公募し、補助金を交付した。	創設3年目に当たり、より丁寧な広報を行った。	要望団体数：24件 助成団体数：6件 採択額：9,153千円 参加者数：2,564名	交付申請書の提出期限：2020年2月17日～3月16日（消印有効） 交付決定通知書の送付：2020年4月22日	—	—	
(再)バーチャル開放区	県庁前日本大通りで音楽やダンスなど自由に発表できる空間「マグカル開放区」の開催場所を路上からオンライン上に移して、文化芸術オールジャンルの動画を募集し、配信する取組である動画コンテンツ「バーチャル開放区」を実施した。	—	応募件数：255件 一般動画：244件（審査対象動画） ゲスト動画：11件（趣旨に賛同したアーティストからの応援動画） 視聴結果 ≪PV数≫ 350,453回（視聴期間：6月1日～3月31日） ≪再生数≫ 358,022回（視聴期間：6月1日～3月31日）	2020年6月1日～ 2021年3月31日	インターネット上	—	
(再)マグカル開放区	歩行者天国となった県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス、大道芸等のジャンルを問わず自由に発表できる開放的な空間である「開放区」を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
舞台芸術にかかわる人材の育成							
(再)マグカルシアター等	主に若手の舞台芸術団体や個人に青少年センター スタジオ「HIKARI」及びかながわアートホールを公演場所として会場・設備・備品を無料で提供した。	多くの文化芸術団体等の公演の場を広げるため、公演会場としてかながわアートホールを新規で追加した。	2,912人	通年	青少年センタースタジオHIKARI、かながわアートホール	個性の異なる2つの会場を拠点としたことから、出演団体の種別や東京所在の団体が増えるなど、すそ野が広がっている。	重点施策 5
(再)県立高校における舞台芸術に関する学科の新設に向けた準備	2021年度から県立神奈川総合高校に舞台芸術科を設置するため、県立高校改革実施計画（Ⅱ期）に基づいて作成した設置計画を基に年間指導計画などを作成し、必要な施設・設備を整備する工事を実施するなど準備を進め、入学者選抜を行った。	チラシの作成・配付や様々な媒体での広報を充実させ、演劇ワークショップ等を開催した。	—	—	神奈川総合高校	2021年1月校舎改修工事完了 2021年2月多目的ホール改修工事基本設計完了	重点施策 2
(再)マグカル・パフォーマンス・アカデミー	マグカルのコアとなるような、専門的な舞台芸術人材を育成するため、実践的な歌・ダンス・演技のレッスンを行った。	常任の講師に加え、特別講師を迎えレッスンを行った。通常とは違った内容のレッスンを行うことで、生徒のモチベーションの向上を図った。	373人	練習日：週2日 計87日（原則、火曜日と木曜日） 成果発表会：新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 本公演：2020年12月19日、20日（2公演）	県立青少年センター 紅葉坂ホール	—	重点施策 5

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再)学校演劇交流フェスティバル	学校演劇における創作のスキルアップを目的とした試演とワークショップを、新型コロナウイルス感染症により活動休止等となった中学校・高等学校の演劇部・ダンス部を対象に、自宅学習及び学校再開後の部活動での活用できるよう、オンラインによる講習会（演劇部門、ダンス部門）に切り替えて実施した。	コロナ禍における自宅での研鑽及び学校再開後の部活動において活用してもらうため、オンラインによる講習会（演劇部門、ダンス部門）を実施し、舞台芸術活動に取り組む青少年を支援した。	視聴回数：2,175回 課題応募者：28人 動画活用：42校263人 オンライン参加者：28人	①演劇部門 オンライン講習会： 2020年5月22日 映像配信開始日： 2020年7月2日 ②ダンス部門 オンライン講習会： 2020年5月25日、6月8日 映像配信開始日： 2020年7月2日	—	一般視聴が可能な動画については、各学校に対する広報のみであったにもかかわらず、演劇編、ダンス編（2回分）それぞれ1,000件を超える視聴を得られた。	重点施策 5
(再)視覚言語がつくる演劇のこぼ	「音で観るダンスのワークインプログレス」の後継事業としての新たな取り組み。視覚から多くの情報を受け取り表現するろう者と、視覚言語にフォーカスした演劇体験をつくるプロジェクトを実施した。	新型コロナウイルス対応として、ラボ（3回）、上演&トーク（1回）をオンラインにて配信	0人 (オンライン配信視聴者525)	2020年8月29日、9月27日、11月25日、2021年3月21日～（公開終了日未定）	KAAT神奈川芸術劇場等	—	重点施策 2
(再)プロフェッショナルアーティスト養成事業の実施（県民ホール）	県民ホール本館で実施する公演のオーディション等により、若手の芸術家を養成する事業を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施している	2人	通年 2回 (2020年7月30日、9月8日～10月18日/10月10日)	県民ホール本館等	アンダースタディを経験した若手歌手がその後の民間オペラ公演で主役役に抜擢された	重点施策 5
(再)2020年度インターン劇場運営（KAAT神奈川芸術劇場）	現場での実務を通して、公立文化施設のあり方や、事業政策・劇場運営の基本的な業務について実践的に学ぶ場を提供した。	—	3人	2021年2月6日～14日	KAAT神奈川芸術劇場	—	重点施策 2
(再)大学等と連携した人材養成プログラムの実施（県民ホール）	東京音楽大学と連携して感染症対策のもとでの演奏会の実現というテーマでの人材育成を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施している	10人	2021年2月19日	県民ホール本館	コロナ禍のもとで、安全安心に演奏会を実施することについての実践的な研修の場となった。	重点施策 5
(再)KAAT+YNU（横浜国立大学）教育普及講座	「芝居の大学 公開オンライン講座 第II期-移動型公共劇場はいかにして可能か-」をオンラインにより実施した。	—	視聴者数：155人	2021年2月23日、3月2日、9日、16日	—	—	重点施策 2
(再)青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による演劇・ダンスの創造活動の発展向上に資することを目的として、中高生向けの3つの先進的なワークショッププログラム（映像、ダンス振付、舞台美術）を実施した。	コロナ禍での実施となり、ダンス編はZOOMを活用し、参加者の自宅と青少年センター練習室（講師）を繋いだリアルタイムでのオンラインワークショップとして実施した。	①映像編17人 ②ダンス編12人 ③舞台美術編16人	①映像編 2021年2月22日 ②ダンス編 2021年2月13日、14日 ③舞台美術編 2021年3月28日	①映像編：県立相模原弥栄高等学校 ②ダンス編：県立青少年センター練習室 ③舞台美術編：県立青少年センター紅葉坂ホール	—	重点施策 5
(再)演劇部実践指導塾「演劇部お助け講座」	中・高等学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施した。	中高演劇部のニーズや演劇界の情勢などを考慮し講師を選定した。	51人(中学校) 56人(高等学校)	2021年3月20日～3月30日（4日間）	県内4会場	コロナ禍での限られた他校との交流の機会に、参加した生徒たちも活発に動いていた。	重点施策 5

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再)かながわ短編演劇アワード2020	短編演劇及び短編戯曲の全国公募によるコンペティションを開催した。	短編戯曲において、作品テーマをCOVID-19とした。また、最終選考に残った戯曲をweb公開することで、より多くの方に作品に触れてもらう機会を設けた。	【応募数】 短編演劇：37団体 短編戯曲：58作品 【来場者数】 本戦：新型コロナウイルス感染症対策の無観客（ライブ配信）で開催 ライブ視聴者数（瞬間最多視聴者数）198人 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	本戦：2021年3月20日～21日 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：新型コロナウイルス感染拡大により中止。	本戦：KAAT神奈川芸術劇場 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：県立神奈川総合高等学校（中止）	—	重点施策5
(再)かながわミュージカルアワード2021	神奈川の地域色豊かなミュージカルの表彰・公演事業を実施し、県内のミュージカル人材の育成及びレベルアップを図った。	神奈川県にゆかりのある題材のミュージカルを公募し、地域色を出した。	【応募数】4団体（上演は2団体を選定） 【来場者数】新型コロナウイルス感染症対策の無観客（ライブ配信）で開催 ライブ視聴者数（瞬間最多視聴者数）186人、アーカイブ（総再生回数）615回	アワード公演：2021年3月21日	青少年センター 紅葉坂ホール	—	—
(再)KAAT舞台芸術講座2020「舞台芸術×障害者～舞台技術者がインクルーシブシアターを考える～」	あらゆる人々のための舞台芸術を目指して、障がいのある方や必要としている方への鑑賞サービスを学び、舞台技術者にとってのインクルーシブシアターとは何かを考える講座をオンライン配信により実施した。	—	再生回数：240回	配信開始日：2021年3月22日	—	—	重点施策2
(再)劇場運営マネージメントプロフェッショナル人材養成講座（県民ホール）	文化施設の利用窓口担当者を対象とする講座を実施した。	概念を学ぶ場ではなく、翌日から現場で使える知識を得る内容とした。	24人	2021年3月23日	県民ホール本館	県民ホールのサイト「神奈川県民ホールの取り組み」において、H28年度から継続して講座内容を紹介している。	重点施策5
(再)心技体+創ワークショップ	『知識は力なり』をテーマに、今や沢山のジャンルに細分化されているストリートダンスを、スキルだけでなくそのカルチャーや歴史、ステップの意味や名前等を学びながらダンスをより深く理解することを目的としたワークショップを実施した。	—	55人	2021年3月30日、3月31日	青少年センター 研修室1	座学でHIPHOPの歴史を学び、BREAKINの特徴を生かしながら、HIPHOPにも取り入れることができるということが講師のデモンストレーションで学ぶことができた。	重点施策5
(再)演劇指導者のための実践的ワークショップ	中学校・高等学校の演劇部指導者、演劇部等の指導的立場にある生徒等を対象に音響、照明、舞台のノウハウを学ぶためのワークショップを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策5
(再)劇場体験インターン事業	県民ホールにて公演制作インターンを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策5
広報・制作インターン	音楽堂の主催事業において、広報と制作を学ぶインターンを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策5

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再) 青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 5
(再) 青少年のための芝居塾	県内の地域・歴史等を取り入れた演劇・ミュージカルを創作し、公募した青少年により上演する実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 5
(再) 全国高等学校日本大通りストリートダンスバトル	ストリートダンスを通じて、健全な青少年の育成を図り、「日本大通り」をストリートダンスの聖地として発信するために、第5回大会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 5
(再) マグカル・ハイスクール・演劇フェスタ	県高校演劇発表会にて最優秀賞等高い評価を得た作品を上演する実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 5
文化プログラムの展開とレガシーづくり							
(再) 県立施設等における文化発信事業	県立施設等において、伝統文化の公演や伝統工芸等の展示、VRゴーグルによる伝統文化の疑似体験等を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。	—	—	—	—	—	重点施策 4
(再) 世界文化交流プロジェクト	東京2020競技大会の機会をとらえ、世界的に有名な演劇を公演を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 4
(再) デジタルアートプロジェクト	湘南地域を中心に、自然に動くもの(波など)に光をあてるナイトウェーブアートやプロジェクションマッピングを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 4
(再) 東京2020 NIPPONフェスティバル「ONE - Our New Episode - in KANAGAWA」	東京2020パラリンピック競技大会にあわせて開催される、東京NIPPONフェスティバルの文化プログラムを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策 4
(再) 日本大通り流鏝馬騎射式	日本大通りでの流鏝馬事業を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。	—	—	—	—	—	重点施策 4

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
イ 文化資源を活用した地域の活性化							
相模湾沿岸地域一体に残る邸宅・定演や歴史的建造物を保全・活用した地域づくりの推進							
湘南邸園文化祭 2020	10月～12月にかけて相模湾沿岸の11市町の邸園等において、18の市民団体等により31のイベントを実施した。	—	延べ約9,600人	2020年10月2日～12月10日	相模湾沿岸地域一帯の邸宅・邸園等	—	
県西地域の豊かな自然環境や歴史的・文化的遺産などを活用した箱根ジオパーク等の取組の推進							
箱根ジオパーク 推進協議会事業	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講演会の開催 ・PRイベントの実施 ・フォトコンテストの実施 ・ガイド養成講座の開催実施 ・サポーター講座の開催 ・ジオツアーの実施 ・小中学校等での教育活動 ・ジオパーク特産品の開発 ・サインの整備 ・パンフレット等作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイン整備事業において、多言語版ページを作成した。 ・ガイド養成講座においてコロナ禍により研修会を開催できないため、動画作成としHP上で配信した。 ・ジオツアーはオンラインで実施した。 	サポーター講座：16人 ジオツアー：32人 小中学校での教育活動：15人	通年	サポーター講座：箱根ビジターセンター、山北町谷峨 教育活動：小田急ハイランドホテル（箱根町） ジオツアー・ガイド養成講座：オンライン等により配信	—	
「鎌倉」の世界文化遺産登録の推進							
「鎌倉」の世界文化遺産登録の推進	世界遺産登録を目指す「鎌倉」の構成資産について、適切な保存管理と積極的な公開活用を図るため、県費補助金による助成を行った。 なお、例年実施している「鎌倉」世界遺産に係る文化財保護ポスター事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できなかった。	—	—	—	—	—	
「日本遺産」の新たな認定の推進と活用による地域活性化							
「日本遺産」に関する情報提供及び支援	「日本遺産」の「候補地域」の募集について、県内市町村等に周知を行った。また、既認定の「日本遺産」について、文化庁補助金の周知や助言を通じ、市町村や地元協議会による地域活性化の取組を支援した。	—	—	—	—	—	
地域に伝承されてきた文化等の発掘・発信・体験の促進							
(再) 県立歴史博物館における特別展の実施	「明治錦絵×大正新版画」展、「相模川流域のみほとけ」展、「かながわの正月」展、特別陳列「出土文字資料からみる古代の神奈川」展を実施した。	「ポケット学芸員」を活用した音声・文字による展示ガイドを行った。また、関連事業として講演会や展示解説を積極的に行った。	「明治錦絵×大正新版画」展：5,719人 「相模川流域のみほとけ」展：10,411人 「かながわの正月」展：1,294人 特別陳列「出土文字資料からみる古代の神奈川」展：767人	「明治錦絵×大正新版画」展：2020年8月25日～9月22日 「相模川流域のみほとけ」展：2020年10月10日～11月29日 「かながわの正月」展：2020年12月12日～2021年1月11日 特別陳列「出土文字資料からみる古代の神奈川」展：2021年3月23日～3月28日	—	県立歴史博物館	
(再) 民俗芸能調査事業	「吉浜の鹿島踊」を初め、県内に所在する「鹿島踊」について記録保存を行うことにより、県内の民俗芸能の保存・継承の基礎資料とし、調査において当該芸能の特色を明らかにする。新型コロナウイルス感染症の影響により祭礼が中止となり、3か年調査を4か年に変更して実施した。	調査員による現地調査及び関連文献の調査を行った。	調査員13人ほか	現地調査 2020年9月23日（ほか6回等）	湯河原町吉浜、湯河原町鍛冶屋、小田原市米神、小田原市根府川、真鶴町真鶴ほか	調査報告書原稿収集（第2章、第3章、第4章（一部）、第5章（一部）、コラム等）	

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再)相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部のワークショップは中止となった。	マスク着用、手指消毒及び換気の徹底等、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に留意した。	160人	2020年12月12日	平塚中等教育学校	—	
(再)カナガワリ・古典プロジェクトin鎌倉	鎌倉市を舞台に、県内の古典や各地の貴重な伝統文化の魅力・価値を再発見し、将来にわたり継承していくという機運につなげていくことを目指し、民俗芸能団体の演目や地域の文化財の映像などを制作し、配信した。	例年行っている公演形式の民族芸能のフェスティバル事業に替えて、コロナ禍における新しい生活様式として民俗芸能団体の演目や地域の文化財の映像などを制作し、配信した。	694,553人(オンライン)	2021年2月15日より順次配信	鎌倉芸術館(撮影場所)	民俗芸能団体の演目や地域の文化財の映像などを制作したことにより、アーカイブの要素として後世に残すための取組を実施することができた。	
(再)かながわ伝統文化こども歳時記	伝統芸能のみならず、お祭りや年中行事、伝承遊びといった生活に密着した伝統文化全般に込められた「祈り」をテーマに、邦楽器の演奏や日本舞踊、民俗芸能、伝承遊び等を映像をとおして分かりやすく紹介した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、映像収録配信(約45分)に変更し、3月25日より配信開始した。	視聴回数：465回	2021年3月25日より映像配信開始	青少年センター紅葉坂ホール、県立青少年センター科学部、箱根町宮城野出張所・諏訪神社、葉山にここ保育園で映像収録	朝日新聞による取材記事(写真2枚掲載)が掲載された。	
(再)かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟団体が一堂に会し、県外の団体も参加して創作太鼓演奏を披露する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
(再)かながわ民族芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
(再)日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
(再)能楽ワークショップ	謡曲・楽器的体験や能の鑑賞のワークショップを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
県立文化施設の地域の賑わい創出等への活用							
街なかトークカフェ	新型コロナウイルス感染症の影響により、動画配信に変更して実施した。	—	オンライン再生回数：639回	2020年8月23日から動画配信	—	—	
前川建築見学ツアー	ボランティアグループbridgeと協働し、音楽堂の見学ツアーを定期的実施した。	主催公演とあわせた開催とすることや、フルコース、無料のショートコースを設けるなど参加しやすい形式を取り入れた。	132人	2020年9月21日、11月21日、2021年2月7日	音楽堂	—	
音楽堂、県立青少年センター、県立図書館、横浜能楽堂、横浜市民ギャラリーの5館の連携事業	「紅葉ヶ丘公立文化施設5館連携会議」を設立し、「横浜・紅葉ヶ丘まいらんマップ」を作成した。	—	—	—	—	—	

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
ホームページ等による、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信							
観光かながわNOW情報発信事業	ホームページ等により、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報を発信した。	美術館等の位置を分かりやすく示した観光マップ（クリックابل）を掲載する。トップページにて、イベント情報を発信する他、文化芸術イベントの公演情報等の詳細を発信する「マガカル・ドット・ネット」と「観光かながわNOWをリンクさせる。	—	通年	—	—	—
無形民俗文化財及び民俗行事等の情報提供	神奈川県無形民俗文化財及び民俗行事等の開催日時の掲載を行った。	—	ページビュー数：5,089件	—	—	「民俗芸能記録保存調査（鹿島踊り）」の調査を行うことができた。	—
地域の製品の普及、伝統的工芸品の製品フェア開催など文化資源の普及、育成							
関東ブロック伝統的工芸品展2020	関東甲信越静地区の伝統的工芸品展に伝統的工芸品産業（産地）従事者が出展するための支援を行った。	県のより多くの伝統的工芸品（箱根寄木細工、小田原漆器、鎌倉彫 計3品）を周知するため、産地組合を通じ、各産地すべてに参加を促した。	Web広告表示回数：1,402,661回	2020年12月1日から2021年3月31日まで	Creema ECサイト内「伝統的工芸品特設サイト」（オンライン）	—	—
伝統的工芸品展WAZA2021	大消費地での全国伝統的工芸品展に伝統的工芸品産業（産地）従事者が出展するための支援を行った。	県のより多くの伝統的工芸品（箱根寄木細工、小田原漆器、鎌倉彫 計3品）を周知するため、産地組合を通じ、各産地すべてに参加を促した。	来場者数：91,337人	2021年2月18日から23日まで	東武百貨店池袋店	—	—
フィルムコミッション活動支援事業の推進							
フィルムコミッション活動支援事業	神奈川ロケーションサポートデスクの設置（制作会社からの問合せに対して、お薦めロケ地のPRや、フィルムコミッションの紹介、市町村との調整などの機能を担う。）	公益社団法人神奈川県観光協会の実施する各種観光プロモーション事業と効果的かつ一体的に実施するため、平成30年4月から同協会に神奈川ロケーションサポートデスク事業を移管。	神奈川ロケーションサポートデスクへの問い合わせ件数…231件 4月…5件 5月…9件 6月…19件 7月…34件 8月…29件 9月…24件 10月…22件 11月…19件 12月…17件 1月…15件 2月…18件 3月…20件	通年	（公社）神奈川県観光協会	—	—
各市町村における文化活動の情報交換・連携							
(再)横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	お箏のワークショップや声楽コンサートの実施した。	各学校の状況に合わせて、学校側の希望を取り入れながらミニコンサートを開催した。	335人 ①185人 ②150人	①2020年11月18日 ②2020年11月25日	①横浜市立末吉小学校 ②横浜市立荏田西小学校	—	重点施策5
神奈川県オリパラ文化プログラム推進協議会	文化芸術を求めて人々が集う神奈川を目指し、神奈川の文化プログラムを推進するため、県内市町村と連携しながら取り組むことを目的として実施した。	県からの一方的な発信にならないよう、参加した全市町村からそれぞれの文化政策について回答をいただき、情報共有を行った。	—	2021年3月16日	書面開催	—	重点施策5

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(4) 景観の形成							
「神奈川景観づくり基本方針」に基づく魅力ある景観づくりの推進							
景観計画策定等 に係る意見交換 会	神奈川景観づくり基本方針では、景観づくりを推進する上で市町村の役割の重要性から「全ての市町村が景観行政団体となるよう支援する」旨を定めており、未移行団体の町と意見交換を実施した。	—	8町	2020年11月27日～12月15日	書面開催	未移行団体の町村と意見交換を実施した結果、県と町村との共通認識を確保することができた。	
文化財保護法に基づく重要文化的景観の選定に係る検討							
文化財保護法に 基づく重要文化 的景観の選定に 係る検討	文化庁や全国文化的景観地区連絡協議会による研修や普及啓発について県の関係部局及び県内市町村に周知した。	—	—	—	—	文化庁や全国文化的景観地区連絡協議会による研修や普及啓発について県の関係部局及び県内市町村に周知した。	

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(1) 学校施設、公共的施設の活用等							
学校施設、公共的施設の文化芸術活動の練習、稽古、発表の場としての活用							
県立学校施設開放事業	県立学校の図書室・音楽室などの学習施設や、グラウンド・体育館などの体育施設を県民の学習・文化活動やスポーツ活動の場として提供した。	地域住民が利用しやすいよう、土曜日又は日曜日のいずれか半日以上を原則開放日として設定している。	学習施設：開放校数25校、利用人数188人 体育施設：開放校数156校、利用人数56,220人	通年	各県立学校	—	
(再)マグカル開放区	歩行者天国となった県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス、大道芸等のジャンルを問わず自由に発表できる開放的な空間である「開放区」を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	
(再)日本大通り流鏝馬騎射式	日本大通りでの流鏝馬事業を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。	—	—	—	—	—	
(2) 県立文化施設の充実							
ア 県立文化施設の機能の充実							
県立文化施設の計画的な維持・保全・拡充							
県民ホール本館の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	県民ホール本館	本館舞台照明設備調光操作卓更新工事など、39件の修繕・工事を実施した。	重点施策5
神奈川芸術劇場の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	KAAT神奈川芸術劇場	搬入リフト7号機、8号機制御盤内部品交換及び補修・補強工事など、67件の修繕・工事を実施した。	重点施策5
県立音楽堂の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	—	—	通年	音楽堂	客席壁面等修復など、2件の修繕・工事を実施した。	重点施策5
かながわアートホールの整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等を実施した。	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	かながわアートホール	動画配信用LANケーブル配線工事、電話回線増設工事、外壁等改修工事などの17件の修繕・工事を実施した。	重点施策5
神奈川近代文学館の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等を実施した。	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	神奈川近代文学館	火災報知設備、受変電設備などの修繕・工事を実施した。	重点施策5
青少年センターホール天井改修工事実施設計費	青少年センターホールの天井の改修工事のため必要な実施設計を行った。	—	—	2020年6月29日～2021年3月12日	—	—	重点施策5

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
施設の機能としての人材育成							
(再)マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー	マグカルの中核となるような、専門的な舞台芸術人材を育成するため、実践的な歌・ダンス・演技のレッスンを行った。	常任の講師に加え、特別講師を迎えレッスンを行った。通常とは違った内容のレッスンをを行うことで、生徒のモチベーションの向上を図った。	373人	練習日：週2日 計87日（原則、火曜日と木曜日） 成果発表会：新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 本公演：2020年12月19日、20日（2公演）	県立青少年センター 紅葉坂ホール	—	重点施策5
(再)学校演劇交流フェスティバル	学校演劇における創作のスキルアップを目的とした試演とワークショップを、新型コロナウイルス感染症により活動休止等となった中学校・高等学校の演劇部・ダンス部を対象に、自宅学習及び学校再開後の部活動での活用できるよう、オンラインによる講習会（演劇部門、ダンス部門）に切り替えて実施した。	コロナ禍における自宅での研鑽及び学校再開後の部活動において活用してもらうため、オンラインによる講習会（演劇部門、ダンス部門）を実施し、舞台芸術活動に取り組む青少年を支援した。	視聴回数：2,175回 課題応募者：28人 動画活用：42校263人 オンライン参加者：28人	①演劇部門 オンライン講習会：2020年5月22日 映像配信開始日：2020年7月2日 ②ダンス部門 オンライン講習会：2020年5月25日、6月8日 映像配信開始日：2020年7月2日	—	一般視聴が可能な動画については、各学校に対する広報のみであったにもかかわらず、演劇編、ダンス編（2回分）それぞれ1,000件を超える視聴を得られた。	重点施策5
(再)プロフェッショナルアーティスト養成事業の実施	県民ホール本館で実施する公演のオーディション等により、若手の芸術家を養成する事業を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施している	2人	通年 2回 （2020年7月30日、9月8日～10月18日／10月10日）	県民ホール本館等	アンダースタディを経験した若手歌手がその後の民間オペラ公演で主役級に抜擢された	重点施策5
(再)視覚言語がつくる演劇のことば	「音で観るダンスのワークインプログレス」の後継事業としての新たな取り組み。視覚から多くの情報を受け取り表現する者として、視覚言語にフォーカスした演劇体験をつくるプロジェクトを実施した。	新型コロナウイルス対応として、ラボ（3回）、上演&トーク（1回）をオンラインにて配信	0人 （オンライン配信視聴者525）	2020年8月29日、9月27日、11月25日、2021年3月21日～（公開終了日未定）	KAAT神奈川芸術劇場等	—	重点施策5
(再)2020年度インターン劇場運営（KAAT神奈川芸術劇場）	現場での実務を通して、公立文化施設のあり方や、事業政策・劇場運営の基本的な業務について実践的に学ぶ場を提供した。	—	3人	2021年2月6日～14日	KAAT神奈川芸術劇場	—	重点施策5
(再)大学等と連携した人材養成プログラムの実施（県民ホール）	東京音楽大学と連携して感染症対策のもとでの演奏会の実現というテーマでの人材育成を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施している	10人	2021年2月19日	県民ホール本館	コロナ禍のもとで、安全安心に演奏会を実施することについての実践的な研修の場となった。	重点施策5
(再)青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による演劇・ダンスの創造活動の発展向上に資することを目的として、中高生向けの3つの先端的なワークショッププログラム（映像、ダンス振付、舞台美術）を実施した。	コロナ禍での実施となり、ダンス編はZOOMを活用し、参加者の自宅と青少年センター練習室（講師）を繋いだリアルタイムでのオンラインワークショップとして実施した。	①映像編17人 ②ダンス編12人 ③舞台美術編16人	①映像編 2021年2月22日 ②ダンス編 2021年2月13日、14日 ③舞台美術編 2021年3月28日	①映像編：県立相模原弥栄高等学校 ②ダンス編：県立青少年センター練習室 ③舞台美術編：県立青少年センター紅葉坂ホール	—	重点施策5
(再)KAAT+YNU（横浜国立大学）教育普及講座	「芝居の大学 公開オンライン講座 第Ⅱ期-移動型公共劇場はいかにして可能か-」をオンラインにより実施した。	—	視聴者数：155人	2021年2月23日、3月2日、9日、16日	—	—	重点施策5

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再)KAAT舞台芸術講座2020「舞台芸術×障害者～舞台技術者がインクルーシブシアターを考える～」	あらゆる人々のための舞台芸術を目指して、障がいのある方や必要としている方への鑑賞サービスを学び、舞台技術者にとってのインクルーシブシアターとは何かを考える講座をオンライン配信により実施した。	—	再生回数：240回	配信開始日：2021年3月22日	—	—	重点施策5
(再)劇場運営マネージメントプロフェッショナル人材養成講座(県民ホール)	文化施設の利用窓口担当者を対象とする講座を実施した。	概念を学ぶ場ではなく、翌日から現場で使える知識を得る内容とした。	24人	2021年3月23日	県民ホール本館	県民ホールのサイト「神奈川県民ホールの取り組み」において、H28年度から継続して講座内容を紹介している。	重点施策5
(再)心技体+創ワークショップ	『知識は力なり』をテーマに、今や沢山のジャンルに細分化されているストリートダンスを、スキルだけでなくそのカルチャーや歴史、ステップの意味や名前等を学びながらダンスをより深く理解することを目的としたワークショップを実施した。	—	55人	2021年3月30日、3月31日	青少年センター研修室1	座学でHIPHOPの歴史を学び、BREAKINの特徴を生かしながら、HIPHOPにも取り入れることができるということが講師のデモンストレーションで学ぶことができた。	重点施策5
(再)演劇指導者のための実践的ワークショップ	中学校・高等学校の演劇部指導者、演劇部等の指導的立場にある生徒等を対象に音響、照明、舞台のノウハウを学ぶためのワークショップを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策5
(再)劇場体験インターン事業	県民ホールにて公演制作インターンを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策5
(再)広報・制作インターン(音楽堂)	音楽堂の主催事業において、広報と制作を学ぶインターンを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策5
(再)青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策5
(再)中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する講習会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	—	—	—	—	—	重点施策5
イ 運営方法の点検等							
施設利用者を対象としたアンケート調査の実施							
利用者満足度調査	指定管理者に対して、県の行政管理局が定める「指定管理者制度の運用に関する指針」等に基づき、協定書に定めた利用者満足度調査を実施した。	—	—	年2回	—	—	—

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
施設運営会議等による施設運営や実施事業の点検・検証							
神奈川県立県民ホール及び音楽堂指定管理業務実績評価委員会	3館一体による効率的な運営が行われているか、チェックするため、公募委員を含む6名により指定管理者が行う自主事業公演のモニタリングを行い、その内容について年1回会議を開催した。	—	—	2020年10月21日～11月30日 モニタリング：17公演（のべ35回）	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により書面会議とした。	—	—
施設運営全般についてのモニタリングの実施							
行政によるモニタリング	指定管理者に対して、県の行政管理局が定める「指定管理者制度の運用に関する指針」等に基づくモニタリングを実施した。	—	—	月例報告書の確認：毎月 モニタリング結果報告書作成：年1回	—	—	—
(3) 情報通信技術の活用							
ア 情報の発信							
ホームページ、SNS、ポータルサイト、電子メールを活用した文化芸術情報の提供の強化							
(再)マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。併せて、ツイッター等のSNSにおいても情報発信を行った。また、訪日外国人向け特集記事を作成し、ネイティブによる多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	イベント掲載数を増やしたほか、読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	PV（ページビュー）数 307,480	通年	—	—	重点施策5
(再)神奈川近代文学館におけるホームページ、SNSの活用	SNSの積極的な活用やコミックとのコラボレーションによりホームページ利用のアクセス数を高く維持し、広く広報周知活動を行った。	展覧会紹介、資料紹介等に加え、誕生日命日などにもSNSで発信するなど、日々新しい話題を提供している。	ホームページアクセス数：146,843件 上記のうち、蔵書検索アクセス数：39,171件 動画コンテンツ視聴数：計4,334件 Twitterフォローワー：約4,000人	通年	神奈川近代文学館ホームページ及びSNS	作家のフォトムービー、文学散歩案内、講演会の音声・動画など新たなコンテンツを公開した。	重点施策5
(再)県立近代美術館における情報提供の実施	プレスリリースを報道関係者にメールで配信した。また、Twitter上で美術館の日々の活動を発信した。	各々の電子媒体によって、対象に合わせた内容を発信した。	メール配信数：7回 Twitter発信数：42回	通年	—	—	重点施策5
(再)県立歴史博物館における情報提供の実施	HP（Twitter含む）を活用した情報提供や刊行物、マスメディア（紙・電波媒体、ネット）による情報発信を行った。	新聞等のマスメディアへの露出機会を増やすために、きめ細やかな情報提供に努めた。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、外出自粛が続く中、新規サイト「おうちでかながわけんぱく」等のオンラインでの情報発信に努めた。	643件 【内訳】 ・HP（Twitter含む）：367件 ・特別展等チラシ・ポスター：10件 その他：266件（新聞：84、雑誌：47、テレビ：34、ラジオ：3、外部WEB：89、その他：9）	通年	—	—	重点施策5

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再) 観光かながわNOW情報発信事業	ホームページ等により、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報を発信した。	美術館等の位置を分かりやすく示した観光マップ（クリックابل）を掲載する。トップページにて、イベント情報を発信する他、文化芸術イベントの公演情報等の詳細を発信する「マガカル・ドット・ネット」と「観光かながわNOWをリンクさせる。	—	通年	—	—	重点施策5
外国語観光情報ウェブサイト多言語化・運用管理等業務	外国語観光情報ウェブサイト「Tokyo Day Trip -Kanagawa Travel Info-」から、文化課の「Magcul.net」にリンクを設置している。	「Tokyo Day Trip」と「Magcul.net」の双方が多言語化されているため、言語別にリンク先のURLを切り替えている。	—	通年	—	—	重点施策5
(再) 広報誌「ANGLE」	芸術監督と各演目に携わるアーティストとの対談や公演レビューなどを掲載した。	紙媒体のほか、閉館中の劇場広報活動として、芸術監督白井晃とゲストとの対談記事を収録した広報誌「ANGLE」のWEB版を3回リリースした。	年間8万部	年3回発行 2020年4月1日 2020年9月20日 2021年1月1日	KAAT神奈川芸術劇場	—	重点施策5
保存資料等の検索・閲覧等に関する情報通信技術の活用							
県立金沢文庫における「国宝金沢文庫文書データベース」の公開	県立金沢文庫が管理する国宝「金沢文庫文書」の画像を、PCやスマートフォンで検索・閲覧できるデータベースを公開した。	古文書の表と裏の両面を高精細画像で公開し、画像どおりの行取りで活字化した本文を表示した。	アクセス件数：69,369件	通年	—	—	
イ 利便性の向上							
施設利用予約システムの運用							
施設予約システムの運用	公共施設利用予約の共同運営を実現するための神奈川電子自治体共同運営サービスを県と市町村が共同して提供する。	原則24時間どこからでもインターネットを通じて、県内公共施設の空き状況の照会や予約申込を行えるようにすることで、県民の利便性を向上させるとともに、職員側の施設予約管理に関する事務処理の効率化を図る。	2020年度利用件数 933,735件（県のみ） （内訳） ・抽選申込数 732,809件 ・内希望調整申込件数 3,459件 ・予約申込数 200,926件	通年	—	—	
ウ 文化芸術にかかわる資料、作品、情報等の保存							
県立文化施設における収蔵資料等のデジタル化、データベース化の推進							
神奈川近代文学館における所蔵資料のデータベース化	所蔵資料（図書、雑誌、特別資料）のデータベース化は、利用者の利便性向上のために重要であることから、当年度もインターネット公開を進めた。	独自の入力項目等により、近代文学の専門館としてのデータ水準を維持している。	特別資料検索利用登録者：111人（累計2,380人）	通年	神奈川近代文学館	本年度の図書、雑誌、特別資料を合わせた電算化入力件数は16,918冊（件）となり、累計は1,246,274冊（件）となった。特別資料（原稿、自筆資料、書簡など）に関しては、新たに6,179件のデータがインターネットで検索可能となった。	
県立近代美術館における収蔵資料等のアーカイブ事業	開館以来の活動により蓄積された貴重な記録資料の整理・保存並びに提供ができる環境を整備した。	アーカイブ化した資料はインターネット上で公開を行っている。	公開件数：1,355件	通年	—	—	
県立歴史博物館における博物館情報システムデータ整備	収蔵資料のデータベース化を推進した。	—	登録件数：9,519件	通年	—	—	

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

2020（令和2）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
工 東京2020大会を契機とした取組							
多言語による情報提供							
(再)外国語観光情報ウェブサイト多言語化・運用管理等業務	外国語観光情報ウェブサイト「Tokyo Day Trip -Kanagawa Travel Info-」から、文化課の「Magcul.net」にリンクを設置している。	「Tokyo Day Trip」と「Magcul.net」の双方が多言語化されているため、言語別にリンク先のURLを切り替えている。	—	通年	—	—	重点施策4、5
外国籍県民情報提供推進事業	①多言語情報紙「こんにちは神奈川県」を作成した。 ②多言語による県民情報を提供した。	記事や発行趣旨に合ったイラストを盛り込み、より適切な表現になるよう多言語の翻訳チェックを行い、外国籍県民等が手に取りやすい紙面の作成をしている。	6言語（日本語併記） 1回当たり20,300部発行 A4版4ページ。	①8月、11月、3月の年3回の発行 ②年間随時	①県機関、市町村、都道府県、国際関係協会・センター、医療機関等約800箇所 ②ホームページ上	—	重点施策4、5
(再)イベントカレンダー	県内の文化イベント情報をカレンダー形式で掲載する日英併記の情報誌「マグカル・イベントカレンダー」を作成した。	毎号特集ページを設け、県事業のPRを行った。	発行部数247,500部	年3回発行 9～11月号 12～2月号 3～5月号	県内、都内の文化施設、駅、劇場、ホテル等で配布	—	重点施策4、5
(4) 文化芸術活動に対する支援の促進							
寄附税制等に関する周知							
かながわキンタロウ寄附金（ふるさと納税）	県のふるさと納税及びかながわキンタロウブックキフの寄附メニューに文化事業のメニューとして「あらゆる人が文化芸術に触れ笑顔になれる社会を！」を掲載し、寄附を募った。	—	94人	通年	—	寄附総額 2,179,602円	—
文化芸術団体への寄附の促進							
神奈川芸術文化財団への寄附の促進	神奈川芸術文化財団HPに掲載するほか、賛助会員やその他法人・団体への寄附依頼時にパンフレットにて周知した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、寄付件数・総額に多大な影響があったが、主催事業の中止時等においては、チケット料金を払い戻さずに寄付していただく制度の活用を進め、多くの個人の方から支援をいただいた。	賛助会員数 法人：40社 個人：12人	通年	—	個別協賛：13件 広告協力：4社 チケット買入協賛：1社 チケット料金払い戻しにおける寄付：41件	—
神奈川近代文学館への寄附の促進	神奈川近代文学館「友の会」は、近代文学館を積極的に利用していただく方に向けて、入館料無料、行事や刊行物の会員価格割引、会員限定行事の開催など、さまざまな事業を行っている。	—	会員数：868人	—	—	—	—
神奈川近代文学館への寄附の促進	「神奈川近代文学館を支援する会」は、法人、団体、事業主または個人を対象に近代文学館の広報や支援に協力いただくとともに寄付による税額控除を行っている。	—	会員数：104人 125口	—	—	—	—

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

2020（令和2）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
メセナ企業等に関する情報の提供							
(再)マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。併せて、ツイッター等のSNSにおいても情報発信を行った。また、訪日外国人向け特集記事を作成し、ネイティブによる多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	イベント掲載数を増やしたほか、読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	PV（ページビュー）数 307,480	通年	—	—	
企業メセナ協議会の相談窓口	「助成認定制度」の相談窓口として周知や積極的な活用を促進した。	県民ホールの入り口でのプレートを設置やパンフレットの設置等を行った。	—	通年	—	公益財団法人企業メセナ協議会の準会員として、報告会等に参加し、情報収集を行う。また、県民ホール副館長がメセナ協議会の研修会の企画委員として参画している。	
メセナ企業と芸術家とを結びつける方策の検討							
2020年度は実施しませんでした。							
(5) 顕彰の実施							
神奈川文化賞・未来賞等による顕彰の実施							
(再)神奈川文化賞・未来賞表彰事業	神奈川県在住、在職又は神奈川県に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対して「神奈川文化賞」を贈呈した。2001年度に、神奈川文化賞の第50回を記念し、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に贈呈するために「未来賞」を創設し、贈呈した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため縮小開催とし、関係者のみの参加とした。	縮小開催のため、一般観覧者なし	2020年11月3日	神奈川県庁本庁舎 3階大会議場	受賞者6人 (文化賞：4人、未来賞：2人)	